

Annual Report 2014

JUNIOR CHAMBER
INTERNATIONAL OSAKA

The Creed of Junior Chamber International We Believe : That faith in God gives meaning and purpose to human life;That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;That economic justice can best be won by free men through free enterprise;That government should be of laws rather than of men;That earth's great treasure lies in human personality;and That service to humanity is the best work of life.

Contents

- 02 青年会議所とは
- 04 理事長所信
- 06 2014 年度組織図＆各委員会の事業名
- 08 理事長あいさつ
- 09 直前理事長あいさつ
- 10 役員あいさつ
- 13 2014 年度 JCI 大阪の活動
- 21 全体事業 OSAKA キャッスル☆ハッスル
- 26 「和」の心育成室
- 27 会員開発特別委員会
- 30 会員の「和」創造委員会
- 33 子どもの「和」創造室
- 34 家族の「和」創造委員会
- 37 子どもの「和」育成委員会
- 40 社会と子どもの「和」創造委員会
- 43 まちの「和」創造室
- 44 義理人情の大坂確立委員会
- 47 大阪の誇り承継委員会
- 50 大阪の「和」創造委員会
- 53 世界の「和」創造室
- 54 「和」の精神発信委員会
- 57 世界の「和」創造委員会
- 60 総務室
- 61 JCI 大阪発信委員会
- 64 日本 JC 関係委員会
- 67 総務財政特別会議
- 70 月例会
- 71 会員大会・卒業式
- 74 2014 年度 会員褒賞
- 76 2014 年度 主なメディア掲載
- 82 2014 年度 主な広報活動

青年会議所とは

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所(商工会議所法制定にともない青年会議所と改名)設立から、日本の青年会議所(JC)運動は始まりました。共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもと、1950年には大阪青年会議所が国内で2番目に創設され、日本JCという国家青年会議所を設立するための重要なメンバーとして関わっていきました。また各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所(日本JC)が設けられました。

現在、全国に青年会議所があり、三つの信条(トレーニング「個人の修練」、サービス「社会への奉仕」、フレンドシップ「世界を結ぶ友情」)のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革などの社会的課題に積極的に取り組んでいます。さらには、国際青年会議所(JCI)のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

大阪青年会議所の特性

青年会議所には品格のある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、大阪青年会議所では25歳から40歳までという年齢制限を設けています。(但し入会資格は満25歳から37歳まで) これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会に貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られています。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動に展開しています。青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国會議員をはじめ、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

大阪青年会議所の歴史

1950年	大阪青年会議所創立	国連広報局よりZGOとして承認
1951年		阪神淡路大震災における組織的支援活動
1957年		「地球市民大阪ひろば(市民参加型集約事業)」を実施
1962年		「Hスノボップイン大阪(アジアの音楽祭)」を開催
1970年		「Save The Children Japan (エシ)」設立(大阪っこが中心となって設立)
1974年	淀川改修100年を記念して「淀川100野外祭」を開催	天神祭「船渡御」への能、文楽、歌舞伎船での参加
1974年～83年	「国際シンポジウム」を開催	「わんぱく相撲」を実施
1980年～	「キッズスマップ(交換ホームステイ)」を開始	「TOPY (The Outstanding Young Person) 大阪会議」を開催
1980年	「JCI—世界会議大阪大会」を開催	「JCI—世界会議大阪大会」を開催
1980年～89年	「淀川マラソン」を実施	「JCI—世界会議大阪大会」を開催
1981年		「JCI—世界会議大阪大会」を開催
1982年		「JCI—世界会議大阪大会」を開催
1985年～		「JCI—世界会議大阪大会」を開催
1986年		「JCI—世界会議大阪大会」を開催
1990年～93年		「JCI—世界会議大阪大会」を開催
1992年		「JCI—世界会議大阪大会」を開催
1995年		「JCI—世界会議大阪大会」を開催



整肢学院児童招待ドライブ



淀川マラソン

JC 宣言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する
確かな時代を築くために
率先して行動することを
宣言する



綱領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を
築き上げよう

1996年	「ふれ愛ピック大阪後夜祭」 設立 (大阪JCIが中心となつて設立)
1997年	「大阪モデル国連会議 (OMC)」 開催
1998年	「第33回全国身障者スポーツ大会の後夜祭」を運営し、多くの市民の皆さんと感動を共有
2000年	「大阪JCI創立50周年記念植樹 「大阪JCI実りの森」」を実施
2001年	「日本JCI第50回全国会員大会大阪大会」 開催
2002年	「豊かな地球創造ミッション」を実施
2003年	次世代教育推進事業 「根っこ学校」 設立提言
2004年	「淀川JCI探検隊」 実施
2005年	「大阪市長選公開討論会」 実施
2006年	「アメリカ村落書き消し事業」 実施
2007年	イハチ・ニコラードコーヒーの「世界会議」にて、「2010年度JCI世界会議」が大阪に決定 社会人講師を学校に派遣した「フレ愛応援団事業」 実施
2008年	「第65回JCI世界会議」を大阪にて実施
2009年	「大阪JCI創立60周年記念式典・祝賀会」 開催
2010年	「大阪JCI創立60周年記念式典・祝賀会」 開催
2011年	公益法人制度改革に伴う法人格選択で、「一般社団法人」を選択
2012年	淀川「花は咲く」プロジェクト実施
2013年	一般社団法人へ法人格を移行
2014年	一般社団法人へ法人格を移行



ふれ愛ピック大阪後夜祭



創立 60 周年記念式典



第 65 回 JCI 世界会議

世界に誇る「和」のまち 大阪を実現しよう！

～己を磨き 他者を信じ 公に貢献する～
熱い情熱をもって！

「和を以て貴しとす」

聖徳太子が制定したとされる十七条憲法の冒頭に示された「和」は、日本そのものを象徴する語です。武士道精神などの道徳規範を通じて、現在も日本人の精神の根底にあり、家族や仲間、まち、国、自然など他者を慮り、自らを含むあらゆるものを公と捉え、協力し合い、先人たちが守り築き上げてきた我が国の普遍的な価値なのです。

古来より大阪のまちは、水運が盛んで難波津と呼ばれた内外交易の玄関口であり、江戸時代には諸国の物資が集中する「天下の台所」として、全国各地から多くの船が来航しました。その後も「水の都」大阪として成長し続け、明治中期には外国貿易の発展をめざして「大阪築港工事」が始まりました。軟弱地盤のためにかつてない難工事となりましたが、一人の男が数百名の荒くれ作業員たちを統率し、世紀の大工事を成し遂げて現在の大阪港の礎を築いたのです。大阪の明るい未来を夢見て、骨身を惜しまず、妥協を許さない並外れた真剣さと勇気で、共に汗を流す作業員たちの幸せを願い、類い稀なリーダーシップで人びとの心を動かし、さらには港で働く人びと、その家族のために私財を投じて幼稚園や病院を建設するなど、公に貢献する高い志をもった男がありました。また大戦の傷癒えぬ大阪が混乱と低迷の中にあった1950年、強い危機感と使命感をもって若い力を結集し、先輩諸氏が立ち上がり大阪青年会議所は設立されたのです。市民の幸せを願い、誰よりも厳しく己を磨き、剛毅で誠実に尽くす一人の男の生き様、そして、大阪のまちを復興させ、明るい豊かな社会の実現に向けて尽力された先輩諸氏の連續たる想いが、私たちの心の拠り所である「和」の精神そのものなのです。

大阪をより良く発展させるためには、今一度原点に立ち返り、引き継ぐべき精神を未来へと繋げなくてはなりません。過去から未来まで続く縦の時間軸と、グローバル化した社会に繋がる横の空間軸の中心に己が存在しており、私たちは未来へ向けて俯瞰的な視野で自らを含む公を認識し、一人ひとりが、己を磨き、他者を信じ、公に貢献することで、世界に誇る「和」のまち大阪を実現します。

「和」の心をもつ子どもを育てる

この世で最も強い絆で結ばれた集団は家族です。一人ひとりの考え方や、性格、能力、感性は違っても、親は子どもに対して常に幸せになって欲しいと願い、子は親に対していつまでも健康であって欲しいと思っています。同じ屋根の下に暮らす家族として

互いに支え合うことによって、子どもに思いやりの心が生まれ、他者と共に生きる力も育まれます。また幼児期は、社会の一員として生きていくための道徳心、社会性、知性や体力の基礎を培う重要な時期です。失敗に臆することなく、夢に向かって果敢に挑戦する子どもを育てるためにも、家族の「和」を創造しなければなりません。

時代の変遷と共に、人びとの思想や価値観が変化することは自然なことです、助け合う心、日本の古き良き伝統を誇りに思う心、郷土への感謝、自然環境を尊ぶ心を失ってはなりません。私たちは、本気で子どもと向き合い、人生の礎となる原体験を通じて子どもたちに、困難に直面しても諦めない逞しい心身と、他者に生かされていることへの感謝の念、支え合って生きていくことを大切に思う心を育み「和」の心を創造していきます。

また、子どもは、社会のために、誰かのために奮闘する大人の背中を見て、憧憬を抱き、夢をもつようになります。さらには、大人と共に時間を過ごすことによって、より大きな夢をもち、その実現に向けて歩み始めます。一方、大人はその直向きな子どもの笑顔に触ることで、未来を生きる世代に寄与している役割の大切さを再認識し、新たな行動を起こすようになります。家族・学校・企業・行政・NPOなどが協力し、互いの信頼を基盤として、社会が総がかりで子どもの未来を考えるようになれば、大人が変わり、社会が変わります。私たちは、家族や多様な人びとと共に、子どもたちに人間関係や集団のルール、公共心や規範意識を伝え、闊達で豊かな心を育むことによって、社会と子どもの「和」を実現します。

義理と人情に厚い大阪を承継する

大阪は元来、義理と人情の心を大切にしてきた人間味豊かなまちです。人の役に立ちたいという想いはこれまで脈々と日本人の遺伝子として受け継いできた財産であり、他者を大切にすることは日本人として、大阪人としての誇りであり、次代へと承継していかなくてはなりません。そのためには、誰かのために、まちのために尽くしたいと誰もが潜在的にもつ公に貢献しようとする気持ちを呼び覚まし、心を奮い立たせなければならないのです。一人の力では成し遂げられることでも、多くの人びとの力を結集することによって大きな力が生まれ、必ずまちを変えることができます。今だけ自分が良いという発想、また行政に任せておけば良いという受身的な考え方をしていたのでは、大阪のまちは変わりません。まちの未来を創るのは勇気ある一人ひとりの行動

一般社団法人 大阪青年会議所 第64代理事長

中谷 憲正



です。豊かな経験則をもつ世代を含めたより多くの人びとによる参画意識と持続的な行動を促し、まちの人びとの「和」を創造します。

今、大阪のまちは、変革の渦中にあります。自治体としての形をはじめ、大阪から日本を変えていく兆しも出てきています。しかし仕組みを変えるだけではなく、人びとの心情と繋がったものとしなければなりません。市民・学校・企業・行政・NPOなどの主体は、地域の特性や強みを活かし、弱みを補完する関係を築き、協働していく必要があります。緊密な連携が取れるようになれば、平時においても非常時においても、支え合い、助け合う関係が築き上げられるのです。さらに、自らのまちの課題や問題について考え、主体的に行動する人びとの英知を結集することが出来れば、持続的にまちは発展します。大切なのは、「和」の精神に基づき、現在や未来の課題に対して取り組んでいく姿勢であり、互いの信頼関係を確立することです。自分たちのまちは自分たちで創っていこうとする人びとと共に、私たちは「和」のまち大阪を実現します。

「和」の精神が世界を変える

現在は、情報・交通インフラの目覚ましい発展により、世界との距離が急速に縮まり、あらゆる事象が互いに影響し合いながら、密接に自分たちの生活と繋がっています。一つひとつの出来事が時空を超えて他者に影響を与える現代社会においては、目に見える範囲だけではなく、それらの繋がりや背景にまで視野を広げ、世界で起きる様々な問題に対して、自分にも関係のあることとして主体的に取り組んでいかなければなりません。

日本が誇る「和」の精神性は、悠久の歴史の中で、我が国が独自に培ってきた価値観のみで形成されてきたのではなく、他国の様々な文化や価値観を取り入れて融合させ、進化させることで創り上げられ、国やまちを発展させてきました。私たちは、日本人の心の根底にある「和」の精神をさらに進化させ、世界中の様々な問題や課題の解決へと導き、持続可能な社会を創造します。

近年、日本は海外から注目を集めています。訪日して日本文化を学ぶ外国人も増え、日本の産業技術やアニメなども世界各国に輸出されていますが、それ以上に大事なことは、誇るべき日本の精神文化を世界へ拓げていくことです。そのためにも、私たちは世界中の諸問題を自分のこととして捉え、共通の認識のもとで対話を重ね、具体的な解決方法を創意工夫し、持続的な活動を展開していかなければなりません。他者を慮る心、互いに異なる価値

観を、顔と顔の見える関係において学び合い、各々が尊重しながら協調していく「和」の精神は、世界が抱える様々な問題解決の糸口となるはずです。

私たちが住み暮らす地球をより良い世界とするためには、未来を見据えて積極果敢に行動できる人びとを育成していかなければなりません。自らを含む公を認識し、己の魂の炎を燃やして公への貢献を実感したならば、その熱き想いは世界を変える力になります。私たちは、大阪から世界を変えていく、世界に誇る「和」のまち大阪を実現します。

今、新たな挑戦がはじまる

2014年度、大阪青年会議所は一般社団法人として新たなスタートを切ります。法人格が変わろうとも、あらゆる価値の根源として、先輩諸氏から受け継がれてきた歴史と伝統、創始の志をしっかりと承継し、躍動感溢れる運動を展開していきます。また新たな価値を創造していくためには、将来のことだけに目を奪わぬ、積み重ねてきた歴史の中にこそ未来への指針があることを忘れてはなりません。

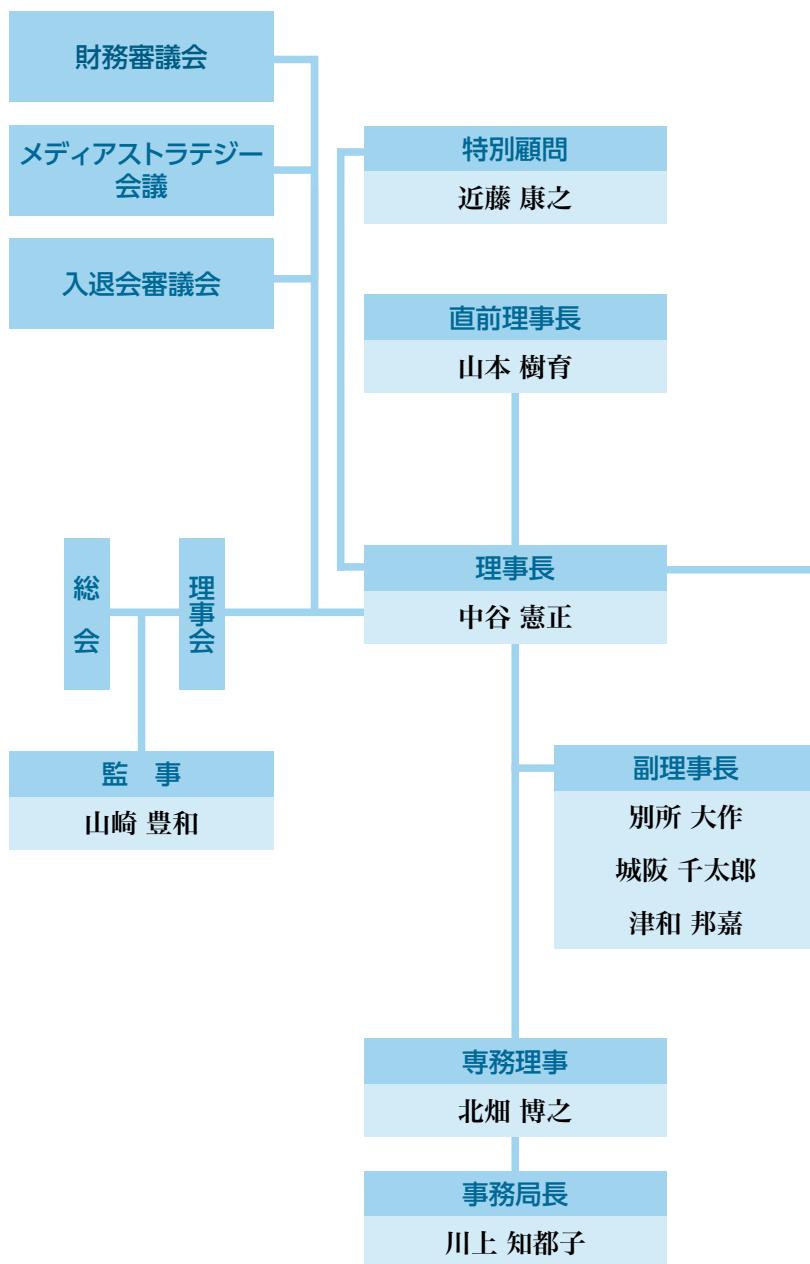
私たちは、大阪のまちの未来に対する責任を果たす覚悟をもって勇猛果敢に行動します。青年らしく失敗を恐れず、互いの人格を尊重し、誠実に、そして真正面から本気で向き合える関係であり続けたいのです。時には喧嘩し、涙しても、最後には仲間を信じて、やるべきことは妥協せずに行い、理想に向けて迷わず突き進んでいきましょう。熱い想いの詰まったJCバッジを胸に煌めかせ、己が熱源となり炎を燃やし、血肉を躍らせる経験を積んでこそ己の成長に繋がります。その成長こそが、愛する家族や、共に働く仲間、かけがえのない同志を幸せにし、さらに運動に対する共感が拡がり、全ての人びとを豊かに幸せにする「和」が創られていくのです。

268万人の大阪市民の夢と希望を乗せた船が今、新たな出航の時を迎めました。この船に乗る一員として、自らの役割と責任を果たし、あらゆる関係の中で生きていることへの感謝の念をもち、己を磨き、他者を信じ、公に貢献する、勇気ある挑戦と行動力により、世界に誇る「和」のまち大阪を実現します。

熱い情熱をもって！

世界に誇る「和」のまち 大阪を実現しよう!

～己を磨き 他者を信じ 公に貢献する～



会員開発特別委員会

特別委員長 中谷 誠

1. 新入会員拡充
2. 新入会員の指導・育成
3. 整肢学院児童レクリエーションの企画と実施
4. 全体事業の準備と参画

会員の「和」創造委員会

委員長 折竹 一郎

5. 会員の「和」創造事業の企画と実施
6. 月例会の企画と実施
7. OB 現役交歓会の企画と実施
8. 会員大会の企画と実施
9. 全体事業の準備と参画
10. 新入会員拡充

家族の「和」創造委員会

委員長 大西 雅也

1. 家族の「和」創造事業の企画と実施
2. 家族会の企画と実施
3. 全体事業の準備と参画
4. 新入会員拡充

子どもの「和」育成委員会

委員長 川田 貴亮

5. 「子どもの「和」育成事業の企画と実施
6. 全体事業の準備と参画
7. 新入会員拡充

社会と子どもの「和」創造委員会

委員長 前田 豊紀

8. 社会と子どもの「和」創造事業の企画と実施
9. 全体事業の準備と参画
10. 新入会員拡充

義理人情の大阪確立委員会

委員長 長岡 泰史

1. 義理人情の大阪確立事業の企画と実施
2. 全体事業の準備と参画
3. 新入会員拡充

大阪の誇り承継委員会

委員長 藤井 章弘

4. 大阪の誇り承継事業の企画と実施
5. なにわ淀川花火大会運営への協力
6. 全体事業の準備と参画
7. 新入会員拡充

大阪の「和」創造委員会

委員長 森田 哲通

8. 大阪の「和」創造事業の企画と実施
9. 災害復興支援
10. 大阪 NPO センターとの連携
11. 新入会員拡充

「和」の精神発信委員会

委員長 竹田 哲之助

1. 「和」の精神発信事業の企画と実施
2. JCI 事業への参加促進
3. JCI への出向者支援及び連絡調整
4. JCI セミナーの参加促進
5. セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとの連携
6. 全体事業の準備と参画
7. 新入会員拡充

世界の「和」創造委員会

委員長 大森 貴之

8. 世界の「和」創造事業の企画と実施
9. シスター JC 交流の推進
10. JCI 褒賞事業へのエントリー調整
11. 全体事業の準備と参画
12. 新入会員拡充

JCI 大阪発信委員会

委員長 佐々木 琢郎

1. 対外向け広報の実施
2. 会員向け広報の実施
3. 新年名刺交換会の企画と実施
4. 理事会運営に関する準備と調整
5. 全体事業の準備と参画
6. 新入会員拡充

日本 JC 関係委員会

委員長 橋本 充雄

7. 日本 JC への出向者支援及び連絡調整
8. 日本 JC 事業への参加促進
9. LOM 間交流の推進
10. 日本 JC 褒賞事業へのエントリー調整
11. 全体事業の準備と参画
12. 新入会員拡充

総務財政特別会議

議長 小川 徹朗

13. 池田会議の企画と実施
14. 事務局機能の充実
15. 定款諸規則の整備
16. 総会運営の準備と調整
17. 財務審議会運営に関する準備と調整
18. 委員長間の調整及び連携
19. 緊急事業の企画と実施
20. 全体事業の準備と参画
21. 新入会員拡充

一般社団法人 大阪青年会議所
第64代理事長

中谷 憲正



2014年度は、『世界に誇る「和」のまち大阪を実現しよう！～己を磨き 他者を信じ 公に貢献する～熱い情熱をもって！』をスローガンに掲げ、一年間活動をしてまいりました。

「青年」－それはあらゆる価値の根源である（設立趣意書冒頭一文）。1950（昭和25）年に大阪青年会議所が設立され64年目を迎えた本年は、公益法人制度改革に伴い、1月6日から一般社団法人として新たなスタートを切る節目の年となりました。法人格が変わろうとも、この組織の目的は、より良い大阪のまち、国、世界のためにあり、さらに公益性の高い運動を展開すべく、改めて組織の基盤強化にも取り組んでまいりました。そのベースとなるものは、会員一人ひとりの資質向上であり、「和」の心を携えること。まずは自らの成長に拘り続け、自己の意識変革と勇猛果敢な行動により、身近な人びとの意識を変えていく。そして個の力、組織の力をもって、大阪のまちにより良い変化を与え続けていくことが肝要であり、運動の本質であると考えます。

2011年3月11日に発災した東日本大震災以降、日本という国、そして日本人の誇るべき精神性の素晴らしさを再認識できたのではないでしょうか。互いを尊重し、支え合い、助け合って生きていくこと。愛する人のために、公のために、そして次世代のために、今というこの一瞬を懸命に生き切る。日本人の誇るべき精神性こそが「和」の心であり、不变の価値観なのです。大阪を明るく豊かにしていくために、今一度原点に立ち返り、先人たちが築き上げてきた古き良き精神性を大阪のまち中に、そして未来へと繋げていくこ

とが、必要であると捉え、5室13委員会の組織構成により運動を発信してまいりました。

己が熱源となり次代を切り拓くリーダーの拡充と指導・育成、「和」の心をもつ子どもの育成、義理と人情に厚い大阪の承継、「和」の心を携えた世界へ羽ばたく国際人の育成、躍動感漲る組織の構築を大きな柱に運動を展開しました。これらの運動の成果についての詳細は、後述の室・委員会ページをご確認いただければ幸いに存じます。

世界に誇る「和」のまち大阪の実現を旗印とし、一年間活動してまいりましたが、本年度の運動は2014年度にすべてが実現されるものではありません。時を越え、世代を超えて永遠に人びとの心に受け継がれていき、無限の拡がりをみせていくことが本年度の成果であり、その起点となる大きな一年であったと確信しています。

結びに、大阪市民の皆様、大阪市をはじめとする行政関係者の皆様、企業・学校・NPO・NGO・各種団体の皆様には多大なご支援ご協力を賜りましたこと厚くお礼申し上げますとともに、多くの皆様との奇跡的なご縁に心より感謝申し上げます。2015年度以降も一般社団法人大阪青年会議所に対しましての変わらぬご理解ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。一年間、誠に有難うございました。

熱い情熱をもって！

一般社団法人 大阪青年会議所
直前理事長

山本 樹育



まちは、建造物などの形あるものだけではなく、そこに住み暮らす人びとが創り上げてきた制度や文化などが生み出すそれぞれのまち独特の空気から成り立っていると考えます。

そして、私たちの住み暮らす大阪は、「まちは自分たちで創るもの」という心意気からそれぞれの時代において、官に頼らず民の力でまちづくりを行ってきた歴史があります。

2014年度がめざした、世界に誇る「和」のまち大阪は、まさに大阪の歴史がそうであったように、「公」のために個が存在し、行動し、なおかつ全体として統率がとれている状態です。

良心が循環する「心」あるまち大阪の実現をめざした2013年度から、さらに「公」を強く意識した運動を展開できたと確信しております。また、2010年代の運動方針

に定められた「公」「敬」「創」の不变の価値観を、様々な事業を通じて大阪の人びとの心に灯し、繋げていくという責務を果たすこともできました。さらに、その運動は大阪のまちの中だけにとどまることなく、世界に対しても役割を果たして参りました。世界に誇る「和」のまち大阪を実現できたと確信しております。

また、理想をめざして運動に参画した人びとが、自己を磨き、他者を信じて、情熱をもって運動に取り組むことができたことも本年度の大きな成果でした。

本年度、世界に誇る「和」のまち大阪の実現にご支援とご協力を頂きました行政・企業・関係諸団体・市民の皆様に熱く御礼を申し上げるとともに、2015年度も大阪青年会議所に対しまして本年同様のご指導ご鞭撻をお願いいたします。



特別顧問

近藤 康之

2014年度は大阪市の水都関連事業にもかかわる機会を頂いた。2015年が大阪城陥落400周年にあたり、そのメモリアルイヤー前年として大阪市として水都事業を位置づけるという事らしい。当会議所にとっても関わりの深い、なにわ淀川花火大会は元々あった水都祭りを併合した歴史を持つが、この水都という概念は果たして今の大阪に生きるのかという疑念を禁じえることができない。社会インフラの中心が地下鉄や道路網にあることは自明で、これから暫くは変わることがないと思う。水の都としてヴェニスと比較することも目指すものでもないし、その方向性で、世界に誇れる水都大阪にはならないと思う。では、何を持って大阪という町を世界に誇るのかという事を考えた時に、それは商業を中心とした士魂商才と言ってもよい精神文化であり、その基は本願寺の寺内町から藩邸街、戦後の復興の中で、例えば世界で最も先進的な先物取引の仕組みを作ってきたこの町の、“町格”であろうと私は思う。私たちはその“町格”を具現化する意識を最も強く持つ団体であると自負しているし、毎年事業の全て

に公敬創という基本的な理念として、その魂が入っている。そして、それを踏まえた私たちの目線は常に世界に向いている。物理的にも電腦社会でも門戸は無限に広がっているからこそ、この“町格”を体現する人格を育て、行政が形を変えようとも今以上に、目で耳で心で後進に伝統を伝え、世界に羽ばたく大阪であってほしいし、2014年度もまたその確実な一步を刻めた一年であった。



副理事長

別所 大作

一般社団法人大阪青年会議所としての初年度を迎えた本年、副理事長として「和」の心育成室と世界に誇る「和」創造室を担当させて頂きました。今年は豪雨による被害、御岳山の噴火などの自然災害、年末での衆議院解散総選挙等々本当に目まぐるしい一年がありました。不意に襲ってくる災害への対応や予想出来ない解散時に未来を選択する有権者に多くの情報を分かり易く開示するなど、改めて青年会議所が果たす役割や存在意義が問われた年でもあったと思います。その為にも「和」の心育成室では一人でも多くの青年経済人に入会して頂く、そして大阪の未来の為に活動して頂くリーダーを育成することを最重要として、異業種交流会や社会で活躍されている女性メンバーをターゲットに据えるなど例年以上の回数と新たなアプローチで拡大に取組み、結果として250名を超える新入会員を迎える事ができました。また同時にメンバーの資質の向上の為に月例会での講師の選定も本年度掲げる世界に誇る「和」のまち大阪をテーマに世界で活躍するリーダーを招聘し講演、対談を頂くなど工夫を凝ら

した例会を開催する事が出来ました。また、世界に誇る「和」創造室でもTOYP事業、PCY事業を通じて「和」の心をもって世界で活躍する海外の優秀な人材を招聘、また「和」の心をもって世界に羽ばたく未来のリーダーを育成する事が出来ました。

歴史の転換期とも言えるこの時代、青年こそが未来を担わなければなりません。会員の皆様と共に貢献する私たちの団体の設立趣意を改めて胸に刻み、私たちの根底を成す「和」の心をしっかりと見つめ直し、大阪に留まらず世界を見据えた活動が求められています。その明確な一步を確実に踏み出す事ができた一年でありました。最後になりますが、一年間大変多くの方々にお世話になりました。次年度以降も何卒宜しくお願い申し上げます。



副理事長

城阪 千太郎

2014 年度一般社団法人大阪青年会議所は世界に誇る「和」のまち大阪の実現をめざし、子どもの「和」創造室の副理事長を担当させて頂きました。

子どもの「和」創造室では、室テーマを「未来へ、生きていく力を育もう！」とし、各委員会が協力し合い何事にも前向きに行動する子どもたちを溢れさせることを目的に運動を開催して参りました。

子どもの「和」育成委員会では、大きな夢を描く自由闊達な子どもたちを溢れさせために10月に開催されました大阪青年会議所全体事業キャスルハッスルにおきまして大阪市内、小学生、中学生100名を対象に「大阪キッズアドベンチャー」を実施致しました。本事業では、大阪市教育委員会をはじめ地域の皆様に多大なるご協力を頂き、未来の大阪を担う子どもたちに、日常生活では体験することが出来ない原体験を通じて、子どもたちの自由闊達な心を育むことが出来ました。

そして、社会と子どもの「和」創造委員会では、地域の大人たちが子どもたちを見守り育てて

いく意識を高めていくために本年で8年目を迎える社会人講師事業を実施し、大阪市内の小学校を対象に地域の皆様、各種団体、企業の皆様にご賛同を頂き、実際の教育現場で子どもたちと接して頂くことで、未来を創る子どもたちを社会全体で見守り育てていくことの重要性を感じて頂くことが出来ました。

また、家族の「和」創造委員会では、道徳心、社会性、知性や体力の基礎を養うために本年で33回目を迎えるわんぱく相撲大阪市大会を実施致しました。大阪市教育委員会をはじめ多くのボランティアの皆様にご協力を頂き、900名を超える大阪市内の小学生、保護者の皆様にご参加頂きました。

それぞれの「和」が次年度以降も拡がるようしっかりと活動して参りたいと思います。

結びに、多くのご支援ご協力を頂きました関係各位に心より感謝、御礼申し上げますとともに引き続き今後とも変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

一年間本当にありがとうございました。



副理事長

津和 邦嘉

本年度は、世界に誇る「和」のまち大阪の実現をめざして、～己を磨き 他者を信じ公に貢献する～を掲げ、中谷理事長の情熱溢れるリーダーシップのもと、私たちは、スローガンの実現に熱い情熱をもって、組織が一丸となり大阪のまちに運動を開催してまいりました。大阪のまちに運動を開催してきた中で、私は、義理と人情の厚い大阪を承継することめざし、まちの「和」創造室の担当副理事長をさせて頂きました。

室テーマとして、「心の通う繋がりを、この大阪に！」として、まちの「和」を創造するには、人びとの有益な関係が必要であり、そのためには、持続的に行動する人びとを大阪のまちに溢れさせていく運動を開催してまいりました。まずは、他者のために想いを次代へ引き継ぐ凜々しい人を溢れさせることを目的として、まちの大人を対象に継続事業である花は咲くプロジェクト事業を1年通じて展開して、人びとにまちに対する愛着を育んで頂きました。そして、主体者として取り組む心意気ある人を目的として、新規事業である義理人情の大阪確立

事業を開催して、次代を担う学生を対象に二日間11名の関西で活躍する企業家を講師としてお招きして、参加した学生には次代に向かって他者を想う心意気を育んで頂きました。さらに、持続的な関係を生み出す感性豊かな人を溢れさせることを目的として、まちで活躍する主体者を対象に、災害復興支援事業を開催して、南海地震に備えて主体者同士の連携を構築する意識を高めてまいりました。また、大阪の陣400年天下一祭と題し、産経新聞様と共に開催したキャスルハッスルでは、組織が一体となって事業を開催して、主体者同士の連携を高め、大阪の「和」を創造することが出来たと確信し、さらには、大阪のまちに大阪青年会議所のブランドを発信することが出来ました。

最後に、一人ひとりが己を磨き 他者を信じ 公に貢献する志を確立できたと確信しております。結びに、たくさんのご支援を賜りました関係各所の皆様には厚く御礼をお申し上げます、1年間有難うございました。



専務理事

北畠 博之

2014年は、中谷理事長が掲げる、“世界に誇る「和」のまち大阪を実現しよう！～己を磨き他者を信じ公に貢献する～熱い情熱をもって！”をスローガンに、一年間運動を展開してまいりました。

64年目の今年は、社団法人から、一般社団法人への法人格移行の一年目という事で、手探りな部分もありながらの組織運営でもありました。なんとか無事に終える事が出来ました。そして、そんな年に1,000名を超えるメンバーとともに、運動に邁進することが出来ましたことは、これからの大坂のまちの未来に向けて、明るい兆しが見えるきっかけになったと、確信をしております。

組織の財務面、運営面に関しましては、一般社団法人一年目という事で、関係各署とも確認しながらの運営でしたが、特に大きな問題もなくすすめることが出来ましたし、広報という部分にあらためて力を注ぐ取り組みとして、ホームページだけでなく、新聞、フェイスブックなど、あらゆる広報媒体を

使って、大阪青年会議所の活動を、大阪のまちの人びとに広く知ってもらう活動をしてきました。

2015年は、一般社団法人格二年目として、変えるべきは変え、残すべきは残す、という選択をしっかりとした活動を通じて、大阪青年会議所のさらなる飛躍の年となると信じていますし、大阪のまちの人びとにも、今まで以上に、広く我々の活動を知ってもらうきっかけになると思っています。

最後になりますが、本年度我々の活動に格別のご理解と、ご協力を頂きました関係各所の皆様には、本当にお世話になりました、心より御礼申し上げます。2015年度は、本年度以上に、皆様には、大阪青年会議所にご支援賜ります様、何卒宜しくお願い申し上げます。



監事

山崎 豊和

本年度は、スローガンとして「世界に誇る「和」のまち大阪を実現しよう！～己を磨き他者を信じ 公に貢献する～熱い情熱をもって！」を掲げ、大阪市民の夢と希望を乗せた中谷理事長が率います船が無事に出港し、沢山の成果を携え帰港されました。私は、監事として1年間を通じて会員の勇気ある挑戦と行動力により、世界に誇る「和」のまち大阪を実現されたことを確認してまいりました。

2014年度は、64年間続いた社団法人 大阪青年会議所から一般社団法人 大阪青年会議所（大阪JC）へ移行をした最初の年でございます。そして、法人格が変化しても、先輩諸氏から脈々と受け継がれてきた歴史や伝統をはじめとする私たちの大切な資産が確実に継承されているかを確認する年でもございました。本年も、1000名を超える会員が大阪JCという場を通じて、奉仕・修練・友情を積み重ね、会員が着実に成長を成し遂げられました。まちに関わる主体者が協力し合って創り上げる「OSAKA キャッスル☆ハッスル」も4年目を迎え、

主体者としてまちを築き上げていく人びとをさらに溢れさせることができました。また、子どもたちの成長を見守り育てるために、すぐに結果を生み出すことができない事業においても、地元の各種団体のご協力を得て、次世代を支える小さな子どもたちに貴重な体験を沢山して頂くことができました。そして、世界で活躍する次世代のリーダー達との国際的な交流まで、大阪JCの組織力を活かした事業を展開することができました。

最後になりますが、法人格が変わろうとも64年間の想いを受け継ぎ、着実に理想の実現に向けて歩み続けていることを確認いたしました。理想を実現するためには、大阪JCの会員だけなく、今まで以上に各種団体やまちの人びとと協力し合い、かつ、それらの人びとのつながりをさらに深め、理想の実現に向かって歩んでいかれることを期待したいと思います。

1月

6日
新年互礼会



8日
新年名刺交換会



12日
台湾 JC との交流会



26日
ウランバートル JC との交流会



28日
公開理事会



1日
第2回女子会



2月



11・12日
月例会



23～25日
京都会議



27日
第1回女子会



29日
第1回異業種交流会



4日
第3回女子会



8日
新年初詣祈願



大阪天満宮

11・12日
池田会議・総会



池田不死王閣



京都各所

28日
社会人講師事業



大阪市立樺本小学校

31日
大阪ブロック協議会 合同出陣式



ハイアットリージェンシー大阪

7日 議案作成・幹事フォローアップセミナー
広報メディアストラテジーセミナー



大阪青年会議所事務局

2014年度 JCI 大阪の活動

2月

13日
会頭公式訪問



リーガロイヤルホテル

15日
社会人講師事業



大阪市立榎本小学校

26日
2月度公開理事会



リーガロイヤルホテル

13日
第2回異業種交流会



チサンホテル心斎橋

17日
月例会



帝国ホテル大阪

15日
社会人講師事業



大阪市立晴明丘小学校

22日
事業説明会



大阪青年会議所事務局

28日
第3回異業種交流会



リーガロイヤルホテル

3月

1日
第4回異業種交流会



チサンホテル心斎橋

10日 「東北の子どもたちに笑顔を！」
プロジェクト



13日
月例会



帝国ホテル大阪

8日
復興創造フォーラム 2014



福島県いわき市

10日
第5回異業種交流会



グラントラントナレッジキャピタル

17日
事業説明会



大阪青年会議所事務局

17日
セネター会総会



帝国ホテル大阪

3月

21日
淀川「花は咲く」プロジェクト



28日
3月度公開理事会



リーガロイヤルホテル

4月

5日
入会式



大阪市中央公会堂

12～13日
新人セミナー



兵庫県立嬉野台生涯学習センター

21日
月例会



23日
第6回異業種交流会



24日
4月度公開理事会



リーガロイヤルホテル

26日
大阪ブロック拡充セミナー



26日
大阪ブロック VMV セミナー



23～26日
エリア会議 アメリカ地域会議



コロンビア（メデ林）

5月

1日
事業説明会



2日
憲法タウンミーティング in OSAKA



8日
わんぱく相撲オリエンテーション



大阪市中央体育馆

2014年度 JCI 大阪の活動

5月

11日
国際アカデミーブレ



12日
北地域8LOM 合同例会 (5月度例会)



15日
JCIセミナー (JCゲーム)



20日 JCIセミナー
(ボディーランゲージセミナー)



21日
アフリカ・中東地域会議



27日
5月度公開理事会



1日
6月入会式



4~8日
ASPACE 山形大会



山形県

11日
全体事業ミーティング



13日
わんぱく相撲前日オリエンテーション



14日
わんぱく相撲大阪市大会



大阪市中央体育館

14日
社会と子どもの「和」の事業



16日
大阪未来創造フォーラム



グラニキューブ大阪

18日
岡山大阪交歓会



岡山県

22日
尼崎青年会議所創立55周年記念式典



23日
新人フォローアップセミナー



大阪青年会議所事務局

23日
社会人講師事業



大阪市立内代小学校

6月

6月

28日 整肢学院レクリエーション事業



大阪府立整肢学院

28日 日本JC災害復興支援委員会訪問



弁天町 ORC200 生涯学習センター

30日 6月度公開理事会



帝国ホテル大阪

7月

5~6日 近畿地区大会



和歌山県 白浜・田辺

11日 国際アカデミー卒業式



12日 淀川「花は咲く」プロジェクト



淀川河川敷

14日 月例会



帝国ホテル大阪

18~20日 サマーコンファレンス



横浜市

28日 ささえあいプロジェクト「災害意識向上セミナー①」



大阪市中央公会堂

29日 7月度公開理事会



帝国ホテル大阪

30日 第2回大阪ブロック協議会 会員会議所会議



大成閣

8月

2日 なにわ淀川花火大会オリエンテーション



大阪研修センター

5日 OB現役交歓会



リーガロイヤルホテル

11日 理事選挙オリエンテーション



大成閣

24日 プレPCY



大阪青年会議所事務局隣接 ORC200 1F 会議室

25~29日 PCY事業



Osaka Academia

27日 ささえあいプロジェクト「災害意識向上セミナー②」



大阪市中央公会堂

2014年度 JCI 大阪の活動

8月

28日
8月度公開理事会



リーガロイヤルホテル

30日
PCY クロージングセレモニー



サンライズビル大阪

30日 Break Through OSAKA
2014 EXPO



サンライズビル大阪

30日
PCY フェアウェルパーティー



サンライズビル大阪

31日
TOYP スピーチコンテスト



サンライズビル大阪

31日
TOYP 基調講演



サンライズビル大阪

9月

1日
TOYP ウェルカムパーティー



KKR ホテル

2日
社会人講師事業



大阪市立苗代小学校

3日
TOYP 大阪フェアウェルパーティー



堂島卓球部

4日
TOYP 神戸プログラム



淡路市北淡震災記念公園

6日
社会人講師事業



大阪市立梅香小学校

6日
TOYP 福島プログラム



福島県

6日
大阪ブロック 羽曳野大会



LIC はびきのホール

7日
TOYP 東京プログラム



東京都

19日
月例会・本コーカス



帝国ホテル大阪

27日
ささえあいプロジェクト



阿倍野防災センター

9月

27日
守口門真青年会議所 10周年記念式典



ホテルアゴーラ大阪守口

29日
第5回 VMV セミナー



大阪青年会議所事務局隣接 ORC200 1F 会議室

30日
9月度公開理事会



リーガロイヤルホテル

10月

6日
未来選択事業



都島区民センター

9~12日
第63回全国大会松山大会



松山市

14日
未来選択事業 II



都島区民センター

16日
「心意氣」育成塾 心意氣セミナー



大阪企業家ミュージアム（大阪産業会館）

17日
月例会・総会



帝国ホテル大阪

18日
「心意氣」育成塾



天満橋 OMM ビル 2F ホール F

18~19日
OSAKA キャッスル☆ハッスル 2014・キッズアドベンチャー



大阪城公園西の丸庭園



大阪市内

19日
「心意氣」育成塾 2日目



天満橋 OMM ビル

24日
金沢大阪交歓会



東京・六本木

28日
10月度公開理事会



リーガロイヤルホテル

30日
家訓づくりセミナー



大阪青年会議所事務局隣接 ORC200 1F 会議室

2日
淀川「花は咲く」プロジェクト



淀川河川敷

3日
会員交流事業 戦国ドッジボール



ノアフットサルステージ久宝寺

1~5日
PCY カンボジア実感研修



カンボジア（プノンペン）

11月

2014年度 JCI 大阪の活動

11月

6日
京阪神三都市会議



中之島フェスティバルタワー

11日
月例会



帝国ホテル大阪



リーガロイヤルホテル



ドイツ (ライブチビ)



1日
「選挙にいったんで！Project 衆院選 2014」公開討論会

8日
社会人講師事業



大阪市立瓜破西小学校

13日
スタッフセミナー



大阪青年会議所事務局隣接 ORC200 1F 会議室

8日
JCI プレゼンター研修



大阪青年会議所事務局

15日
北地域 8LOM 親睦事業



池田市五月山体育馆

24～28日
世界会議ドイツ大会



ドイツ (ライブチビ)

27日
公開討論会街頭インタビュー



グラントフロント大阪周辺

12月

8日
大阪ブロック協議会大納会



ハイアット・リージェンシー大阪

9日
会員大会・卒業式



グランフロント大阪 4階ナレッジシアター



大阪青年会議所事務局隣接 ORC200 1F 会議室

リーガロイヤルホテル

全体事業

OSAKA キャッスル☆ハッスル 2014

会場：大阪城公園西の丸庭園

10月18日(土)・19日(日)



2014年10月18日11時より、
大阪城公園 西の丸庭園にて
OSAKA キャッスル☆ハッスル
2014 を開催しました。
今年も大勢の市民の方々にご参
加いただき、様々なイベントで
盛り上りました。



開催イベント

芸能

- 和太鼓演奏、書道パフォーマンス、紙芝居、落語
- プロ吹奏楽団との大合唱

体験

- 職業体験
- 親子ずもう
- ポックリ製作体験
- むかし遊び縁日

食べる

- 屋台 20 店舗集結

学ぶ

- 大阪歴史クイズラリー
- なにわなんでも大阪検定
- 書道、華道、茶道学びブース
- 天下一武道祭
- ゲームで世界の問題を知ろう

挑戦

- なんでやネン5分間リレー 1,000 人ギネス世界記録に挑戦

同時開催

大坂の陣 400 年
大坂ノ陣合戦祭り

芸能



和太鼓演奏



書道パフォーマンス



紙芝居



プロ吹奏楽団との大合唱



学ぶ



大阪歴史クイズラリー



大阪検定



書道ブース



華道ブース



天下一武道祭



ゲームで世界の問題を知ろう

体験



職業体験



親子ずもう



ポックリ製作体験



むかし遊び縁日

挑戦



なんでやネン5分間リレー 1,000人 ギネス世界記録に挑戦

食べる



屋台 20 店舗集結





「和」の心育成室

Office to Nurture a Spirit of Harmony

己が熱源となり、未来を切り拓いていこう！

会員開発特別委員会

会員の「和」創造委員会

本年度、「和」の心育成室では世界に誇る「和」のまち大阪を実現するために、室テーマとして「己が熱源となり、未来を切り拓いていこう！」を掲げ、理想とするまちの姿を明確に示し、自身を取り巻く様々な課題に真正面から立ち向かい、自らが起点となって人びとの心を動かし、互いを信じ高め合える有益な関係を有し、未来を切り拓く熱い情熱をもった人財が必要だと考えました。そして、公に貢献する意欲をもって理想のまちを想い描き、様々な問題を自分ごととして捉え、何事にも妥協することなく確固たる信念を貫き、互いを思い響き合う未来に有益な絆を有し、未来への礎を築く覚悟をもって挑み続けるリーダーを育成することを目的に、2つの委員会で1年間を通じて様々な運動を展開してまいりました。

会員開発特別委員会では、まちの未来を切り拓いていく可能性を秘めた新たな仲間を社会に広く求め267名もの仲間と出会うことができました。そして、新入会員の指導・育成（入会式・新人セミナーの企画と実施）では、様々な問題から目を背けることなく自らが率先して課題に取り組んでいく気概を醸成することができました。また、旧人の指導のもと新入会員が主体となり整肢学院児童レクリエーションの企画と実施をおこない、自らが起点となり次代を牽引していくことができる前向きな行動力を育むことができました。そして、全体事業の準備と参画（ギネス世界記録に挑戦）では、目標に向かって自らの役割と責任を果たすことの大切さを知ってもらい新たな価値を生み出していくことができる連帯感を高めることができました。さらに、新人企画事業では5つの事業（未来選択、会員交流、会員拡大、対外公益、卒業・打ち上げ事業）を展開し、これまで培ってきた経験や気づきを余すことなく未来の仲間たちに伝え、理想の実現に向け己が熱源となって諦めることなく突き進んでいく熱い情熱をもったリーダーを溢れさせることができました。

会員の「和」創造委員会では、中谷理事長が掲げる目標を組織全体で共有し、理事長所信に基づいて1年間の月例会テーマを掲げ、日本国内だけではなく世界でも活躍している著名人を講師としてお招きし、また、例年とは違う各委員会CMや大阪青年会議所内部に止まらず、一般の方々にも参加をして頂いた公開月例会を開催し、組織が取り組む目的と課題から見える自らの役割と責任を仲間とともに果たす意欲を沸き立たせ、人びとが望むより良い未来に向けて、公益性の高い取り組みができる組織へのニーズを的確に捉える力を育むことができました。そして、現役・特別会員との交流を深めるために、OB現役交歓会を開催し、より大きな効果を生み出すJC運動に繋がる世代を超えた信頼の絆を築くことができました。さらに、「和」をテーマとして開催した会員大会では、1年間を通じて運動の成果を現役・特別会員と共有し、誇りある組織の一員として、他者のために自らが熱源となり公に貢献し続ける高い志をもったメンバーを溢れさせることができました。

本年度、「和」の心育成室では「己が熱源となり、未来を切り拓いていこう！」というテーマのもとに事業をおこない、未来への礎を築く覚悟をもって挑む人びとを溢れさせ、世界に誇る「和」のまち大阪を実現することができました。



室長

中谷 誠

会員開発特別委員会

Member Development Special Committee

基本方針 理想に向け役割と責任を果たす熱い情熱をもったリーダーを育成していきます。

事業計画

私たちは、社会の繋がりの中で生かされていることに感謝の念をもち、ものごとの本質を的確に捉え、自らが起点となり何事にも臆することなく立ち向かい、互いに高め合う関係を築き、理想に向け役割と責任を果たす熱い情熱をもったリーダーを育成していきます。

事業報告

1. 新入会員拡充

事業の内容 新入会員拡充

実施日時 1月～6月

場所・会場 各実施会場

参加人数報告 計画:300人 結果:267人

実施方法の工夫

- 事業説明会・異業種交流会・女子会に参加者が参加し易いように時間や曜日を考え開催しました。
- 入会資格者の対象にも注視し、青年経済人を対象にしたビジネスフォーラムや女性を対象とした女子会など、18回開催しました。
- 年初の池田会議や2月度月例会にて新入会員拡充についてプレゼンをおこない、多くのメンバーに新入会員拡充の大切さを知ってもらう工夫をいたしました。

事業目的に達した点

過去最高である260名を超える267名の新入会員の拡充することができました。これにより2014年度6月時点では会員数1081名となりました。

事業目的に達しなかった点

2014年4月までに目標に達成することができなかった。1～3月における時間的な余裕がなかったことが原因の一つだと考えられます。そのためにもしっかりとスケジュールを立て計画的に進めることがければ目標に達成できると考えます。

また、他委員会や先輩諸兄に対するアプローチも同じようにおこなう必要があると考えます。

2. 新入会員の指導育成（4月）

事業の内容 4月入会式・新人セミナー

●入会式 4月5日(土) ●新人セミナー 4月12日(土)～13日(日)

●入会式 大阪市中央公会堂 ●新人セミナー 兵庫県立嬉野台生涯教育センター

参加人数報告 計画: ●入会式 新入会員:213人／旧人:85人／13未満者:2人／計:300人

●新人セミナー 新入会員:186人／旧人:79人／計:265人

結果: ●入会式 新入会員:189人／旧人:85人／13未満者:2人／計:276人

●新人セミナー 新入会員:150人／旧人:81人／計:231人

実施方法の工夫

●入会式／各委員会に今後一年行う事業を説明してもらうことで、青年会議所の目的を理解して頂きました。

●新人セミナー／旧人メンバー、新人メンバーが飯盒炊飯を通して共同作業を行うことで交流を図り、また、「親睦の火」と呼ばれるキャンプファイヤーを行うことで、さらに強い絆で結ばれるとともに、忘れ得ない最初のJCでの思い出とすることで、今後の事業への参画意識を高めてもらいました。

事業目的に達した点

4月度入会式、新人セミナーでは、基調講演、委員会PR、バッジ授与式、決意表明、JC基礎講座、アドベンチャープログラム、グループディベート等を通して、目的であるまちが抱えている様々な問題や成り立ちを的確に捉え、課題解決に向け自らが率先して取り組んでいく気概を醸成し、理想に向け役割と責任を果たす熱い情熱をもったリーダーを育成する事を目的にプログラムをおこないアンケートを取り検証した結果、数値目標による検証においてもよい評価を頂き、また、記述内容による検証においても前向きな発言が多かったことを考えると、当初の目的が多く果たせたと考えます。

事業目的に達しなかった点

事前登録時においての新人セミナーのアナウンスは例年以上にできていたと思いますが、事業前日の段階で事前登録よりも40名程度の差異が生じました。これは、予算に対して深刻な問題となるだけでなく、指導・育成の観点からも問題視することであり、以後、明確にキャンセルも含めた旅程表を早く提示すると共に新人セミナーの重要性を事前に認識して頂く資料配布などの対応を検討する必要があると感じました。

3. 新入会員の指導育成（6月）

事業の内容 6月入会式・新人セミナー

6月1日(日)

場所・会場 御堂会館 南御堂

参加人数報告 計画:新入会員:38人／旧人:59人／計:97人 結果:新入会員:38人／旧人:59人／計:97人

実施方法の工夫

●厳肅に開催される入会式終え、JC生活がこれから始まる期待感と高揚感をもったまま、すぐに新人セミナーの開催を実施しするように工夫をいたしました。

●4月入会メンバーとも懇親を図るために、小委員会毎に懇親会を開催いたしました。

●熱い情熱をもったリーダーになる為にこれからどのように行動していくかを全員の前で発表し、今後の活動に向けての気概を高めていただきました。

事業目的に達した点

6月度入会式、新人セミナーでは、基調講演、委員会PR、バッジ授与式、決意表明、JC基礎講座、グループディベート等を通して、まちの問題点を的確に捉え、自らが議題解決に率先して取り組む気概と覚悟を醸成し、理想に向け責任と役割を果たす熱いリーダーとなるための礎を養ってもらいました。特に課題解決に向けて自らが率先して取り組んでいく気概を醸成するために、自らが行動してきた体験談をもとに神藤佳裕先輩に講演をして頂いた結果、大阪青年会議所の一員としての使命を理解できたという評価を頂きました。

事業目的に達しなかった点

入会式、新人セミナーと単日での開催でしたのでプログラムに余裕がありませんでした。また、アンケート結果でも短い時間でなければ評価がもっと良かったと推測される部分がありました。それを踏まえ入会式を午前中からおこない、昼食を共にするなどコミュニケーションを図る場をつくるなど創意工夫しておけば数値目標を達成できた可能性もありました。

4. 整肢学院児童レクリエーションの企画と実施

事業の内容 整肢学院児童レクリエーションの企画と実施

実施日時 6月28日(土)

場所・会場 大阪府立整肢学院

参加人数報告 計画: ●対内 新人: 192人 / 旧人: 98人 / 計: 290人

●対外 児童: 92人 / 職員: 70人 / 計: 162人

結果: ●対内 新人: 191人 / 旧人: 94人 / 計: 285人

●対外 児童: 90人 / 職員: 70人 / 計: 160人

実施方法の工夫

●事業テーマを「和」っしょい祭り!と定め事業の一貫性と方向性を理解しやすいよう工夫しました。

●事前準備として各小委員会からリーダー、サブリーダーを選出する中で、本年度は副議長を通常より多く輩出する新人企画会議体を組織し、旧人メンバーから事業経験を語って頂き、また、整肢学院の先生に障害者と健常者が共生できる社会の実現のために、我々にどんな事ができるのか、また障害者の目線で社会を見た時にうつる世界がどのようなものかについてご講演をして頂くことで、事業に対する目的と意識を高めることができる工夫をいたしました。

事業目的に達した点

●新人メンバーについて / すべての企画について新人メンバーが企画を立てることで、自らが起点となり何事にも臆することなく立ち向かい、次代を牽引していくことができる熱い情熱を持ったリーダーを育成することができたと考えます。また、検証会でもリーダー全員に報告してもらい、全てのリーダーが小委員会メンバーの力を借りないと前に進めることができないと知り、メンバーを巻き込むことの重要性を知り、その結果、目的でもある自らの役割と責任を果たす熱い情熱を持ったリーダーを育成することができました。

●旧人メンバーについて / すべての企画において自らの経験をもとに新人メンバーの指導育成に携わって頂きました。また、当日は新人メンバーの企画したものを、運営していくことで、自らの役割と責任を自覚した熱い情熱を持ったリーダーとしての素養を携えることができました。

事業目的に達しなかった点

●新人メンバーについて / この整肢学院事業を通して、小委員会内の友情を育みながら、事業実施までのプロセスを学んでいきます。また、どれだけのメンバーを巻き込んでいくかも課題であり、各小委員会のリーダーを中心にメンバーを巻き込むためにはどのようにすればよいのかなど、じっくりと話をする場が必要あります。

●旧人メンバーについて / 自らの経験をいかして新人メンバーをしっかりとフォローし積極的に関わり新人メンバーと一緒に模索していく必要があります。

5. 全体事業の準備と参画

事業の内容 ギネス世界記録に挑戦

実施日時 10月18日(土)

場所・会場 大阪城公園西の丸庭園

参加人数報告 計画: 合計: 654人 ●対内 会員開発特別委員会: 230人

●対外 一般参加者: 424人

結果: 合計: 594人 ●対内 会員開発特別委員会: 118人

●対外 一般参加者: 476人

実施方法の工夫

●先輩諸兄にも参加していただくことで、世代を超えた信頼関係を繋げていく工夫をいたしました。

●大阪弁特有の「なんでやねん」を5分間挑戦することで、よりギネスを楽しめる効果を生み出すことと、一般市民の参加促進へと繋げていく工夫をいたしました。

事業目的に達した点

ギネスを通じて、互いに高め合う関係を築き、目標に向かって自らの役割と責任を果たす熱い情熱をもったリーダーを溢れさせる事を目的にプログラムをおこないアンケートを取り検証した結果、数値目標による検証においてもよい評価を頂き、また、記述内容による検証においても前向きな発言が多かったことを考えると、当初の目的が多く果たせたと考えます。

事業目的に達しなかった点

ギネス達成ルールについて、参加者マニュアルに記載して配布、および待機場所にルール説明ボードを掲げていましたが、周知不足のためギネス世界記録に達成することができませんでした。

また、ギネス認定員ごとの確認範囲が明確ではなく、一部重複がありました。失格者をダブルでカウントするリスクにもなりますので、確認エリアを明確にするなどギネス側と事前確認しておいた方がよいです。

本年度の会員開発特別委員会は、社会の繋がりの中で生かされていることに感謝の念をもち、ものとの本質を的確に捉え、自らが起点となり何事にも臆することなく立ち向かい、互いに高め合う関係を築き、理想に向け役割と責任を果たす熱い情熱をもったリーダーを育成することを主眼に活動をおこないました。そのために、まずは組織全体で掲げた300名を目指した拡充活動をおこない、その結果267名の新人拡充を実現しました。そして、新たな仲間には入会式、新人セミナーを経験してもらい、様々な問題から目を背けることなく自らが率先して課題に取り組んでいくことの大切さを学んで頂きました。また、整肢学院児童レクリエーションの企画と実施では、「和」っしょい祭り!と題し、旧人の指導のもと新入会員が主体となり、他者に関心をもち謙虚な姿勢と感謝の気持ちを携え、自らが起点となり次代を牽引していくことができる前向きな行動力を育んでもらいました。そして、全体事業の準備と参画(ギネス世界記録に挑戦)では、様々な可能性を持った仲間と理想のまちの実現に向け、互いに高め合う関係を築き、目標に向かって自らの役割と責任を果たすことの大切さを知つてもらい新たな価値を生み出していくことができる連帯感を高めることができました。さらに、新人企画事業では、未来選択事業、交流事業、拡大事業、対外公益事業、卒業事業の5つを計画し、これまで培ってきた経験や気づきを余すことなく未来の仲間たちに伝え、理想の実現に向け己が熱源となって諦めることなく突き進んでいくリーダーを溢れさせ、世界に誇る「和」のまち大阪を実現することができました。

結びになりますが、これまでご支援賜りましたすべての皆様方に心より感謝、御礼を申し上げ、本年度、会員開発特別委員会の幕を閉じさせて頂きます。

本当に一年間ありがとうございました。



委員長

中谷 誠

スタッフ

幹事	副委員長	委員	奥野 雅明	合田 佳史	神農 将史	辻野 晃弘	中西 彰吾	細川 直人	山本 浩二
河合 栄佳	安藤 利江	新井 善久	奥村 直謙	古賀 章広	芹奈 廣一	恒元 直之	中西 基晴	細川 祐介	柚野 寿和
川畠 太介	池上 嘉晃	石倉 達也	小野田 仁	越田 泰生	高城 康二	坪内 基真	中郷 義英	堀 志帆	吉田 幸司
友綱 満	大向 仁	伊藤 美恵	柿本 陽子	小嶋 康太	高橋 大輔	徳永 真介	西尾 淳	榎本 昭之助	吉田 貴俊
中尾 浩	川崎 勝郎	岩谷 良平	叶裕一	坂井 政一	高橋 友香	徳永 智也	西川 宜輝	松尾 大	吉田 千里
税所 貴一	上原 英雄	河原 由次	阪野 瑞穂	高橋 良門	富田 かおり	朴 恵久	松田 大治		
中島 丈裕	氏田 裕吉	岸野 亜弓	阪野 由一	田川 英紀	友井 亮輔	長谷川 浩久	三浦 正行		
森西 聖	江川 浩司	北川 希美	坂本 裕喜	田中 幸子	鳥越 明子	花木 浩二	村川 貴史		
八木 弘晃	大野 英昭	北山 以珠美	佐々 一樹	田中 盛太	中川 興一	播磨 克彦	本村 優子		
山本 健一朗	大橋 弘幸	金 思冽	芝伐 佑介	田中 昌浩	中川 知子	畢 志鵬	柳本 顕		
	岡田 郁美	木村 友昭	白崎 謙隆	田村 俊浩	中島 洋行	深井 光雄	山内 理子		
	岡本 幸宏	熊谷 知哉	神野 貴勝	築山 邦男	中辻 史記	古屋 栄二	山廣 昌司		



会員の「和」創造委員会

Committee to Create Member Harmony

基本方針 自らが熱源となり未来を切り拓くメンバーを溢れさせます。

事業計画

私たちちは、先人たちから脈々と引き継がれてきた想いを受け継ぎ、組織が掲げるより良い未来をともに想い描き、一人ひとりが他者の気持ちを汲み取る感性を携え、互いの成長に繋がる有益な関係で結ばれ、自らが熱源となり未来を切り拓くメンバーを溢れさせます。

事業報告

1. 月例会

事業の内容 組織のめざす方向性を毎月理事長挨拶、報告、多彩な講師講演を通じて共有し、自らの役割と責任を自覚する機会とします。

実施日時 1月～11月

場所・会場 帝国ホテル

参加人数報告 結果:メンバー4,095人(北地域公開例会OB現役は除く)

実施方法の工夫 毎月、PRとホームページでの案内、ポスター告知、次回予告CM映像、テーマに合わせ料理内容を変更し、開会前には各委員会CMを上映し、参加促進に尽力いたしました。

事業目的に達した点 組織のめざす方向性を時節に分け、各室の運動やテーマに添った企画を練り、講師選定や毎月メンバーが楽しんで参加できる月例会を設営に努めたことで自らの役割と責任を自覚し仲間とともに果たす意欲を醸成しました。製作を通じメンバー間の連帯感を高め、開会前に上映することで開始時における参加率を高める委員会CMをお願いし、各運動の進捗や内容の共有を図ることが出来ました。

事業目的に達しなかった点 選挙後の10月と11月における参加者の減少について企画段階でさらに踏み込んだ対策の必要がありました。

2. 北地域 8LOM 合同例会

事業の内容 北地域のLOMが一同に会し、減災の課題や、大規模災害時における自分たちの役割を認識し、非常時に対応できるオピニオンリーダーとして気付きを得る機会とします。

実施日時 5月13日(火)

場所・会場 茨木市市民会館 大ホール

参加人数報告 計画:メンバー488人 結果:メンバー400人

実施方法の工夫 8LOM間における受援力体制構築や、JCとしてできる減災、有事の際に正確な情報共有の重要性を提言書にまとめ会場にて発表しました。

事業目的に達した点 実際に生死の狭間を切り抜けられ、報道現場の第一線で活躍されている辛坊治郎氏の選定により、教授や学識経験者とは違う説得力のある講演であったとたくさんのお声を頂きました。地域を担うオピニオンリーダーとして、災害時に必要な資質を高められる例会にできたと考えます。

事業目的に達しなかった点 無し

3. 公開例会

事業の内容 大阪への愛着心や興味を湧かせるフォーラムを実施し、まちの課題や問題について、参加者全員が共有し、公益性の高い取り組みができる組織へのニーズを的確に捉える感性を育みます。

実施日時 6月16日(月)

場所・会場 大阪府立国際会議場 グランキューブ大阪

参加人数報告 計画:メンバー:690人 一般参加者:1,000人 合計:1,690人

結果:メンバー:570人 一般参加者:661人 合計:1,231人

実施方法の工夫 「"民"の力が大阪を変える!～心通う繋がりを、この大阪に!～」とテーマを決め、パネルディスカッションやコーディネーターの設置、オープニング、中間、クロージング等、参加者がイメージしやすい映像を上映しました。

事業目的に達した点 基調講演、パネルディスカッションを通して大阪のまちへの愛着心が高まり、現状の問題点を共有できました。組織が掲げるより良い未来を一般参加者とともに想い描け、アンケート集計からも参加者に大切な人が住むまちで他者の気持ちを汲み取る感性を携えて頂いたことができたと分析します。

事業目的に達しなかった点 無し



4.OB 現役交歓会

事業の内容	まちに刻まれた数々の功績と次代を見据えたJCI大阪の方向性を共有する機会を通じて、輝かしい歴史を築いてきた先人たちと魅力ある組織への想いを語り合う交流の場を設けます。
実施日時	8月5日(火)
場所・会場	リーガロイヤルホテル
参加人数報告	計画:メンバー:430人 OB:160人 合計:590人 結果:メンバー:449人 OB:157人 合計:606人
実施方法の工夫	OB、現役メンバーへの電話による参加促進、OB諸兄が積み重ねてきた組織の歴史を知ることのできる思い出の事業をボードに展示、コメントを頂き、干支別テーブルや先人たちの熱い想いが詰まったボールをやり取りし、有益な関係を築く契機としました。
事業目的に達した点	本年度はOB、現役メンバーの世代を超えた交流を深める機会を多く演出でき、会場退出時にたくさんのメンバーと話すことが出来たというお声や、アンケート集計からも今後のOB現役交歓会への期待が込められたコメントを多く頂くことが出来たことから、互いの成長に繋がる有益な関係で結ばれるメンバーを溢れさせたと考えます。
事業目的に達しなかった点	無し

5. 会員大会

事業の内容	一年の集大成としてJC運動の成果を称え合うアワードコンベンションを始め、理事長挨拶、理事長引継式典、卒業式を実施。次年度に向けてさらにJC活動への意欲を高める機会とします。
実施日時	12月9日(火)
場所・会場	リーガロイヤルホテル
参加人数報告	計画:メンバー:626人 同伴者:10人 OB:100人 合計:736人 結果:メンバー:720人 同伴者:10人 OB:68人 合計:798人
実施方法の工夫	理事長所信における「和」を全体のイメージとし、一人ひとりがスポットの当たるよう、映像機材にて顔写真を展開。アワード演出とともに本年度の想いを志へと昇華させる演出を実施しました。
事業目的に達した点	本年度は随所にこだわりをもって設営し、期待感と高揚感が持続する演出を心がけました。最後まで集中できたと多くのお声を頂きました。また、妥協なくPRし続け各委員会の皆様にご協力賜ったことで目標数値を大幅に超えるご登録を頂き料理や細部にわたり満足したとのお声も多数頂きました。
事業目的に達しなかった点	アワード演出エンタメ本番において時間が遅延し、全体として10分終了が延びました。出演者とメンバーの共演がある場合は、より入念な打ち合わせが必要です。

私たち会員の「和」創造委員会は、メンバー一人ひとりが、自らが熱源となり未来を切り拓く志あるメンバーを創出することを目的に運動を展開してまいりました。

本年度の月例会は、組織のめざす方向を各室のテーマ、運動に基づき様々な形の講師講演で共有し、組織が取り組む目的と課題から見える自らの役割と責任を仲間とともに果たす意欲を沸き立たせることができました。また、公開例会において、大阪の未来について、人びととともに、より良いまちの姿を想い描く機会を創出し、より良い未来を創造するために、公益性の高い取り組みができる組織へのニーズを的確に捉える感性を高めることができました。さらに、OB現役交歓会では、本年度における運動の功績と次年度理事長によるJCI大阪の方向性をOB会員と共有する機会を通じ、組織への想いを語り合う交流の場を設け、より大きな運動に繋がる世代を超えた信頼の絆を築く一助とすることができました。そして、会員大会では、一年の集大成として妥協することなく取り組んできたJC運動の成果を称え合うアワードコンベンションを創りあげ、理事長挨拶では、世界に誇る「和」のまち大阪の実現を再認識し、理事長引継式典では次年度に向けてさらにJC活動への意欲を高める機会とし、会員の「和」創造映像『志』では、弛みなく続いてきた明るい豊かな社会の実現をめざす想いを古市実先輩からのメッセージとして会場にて上映し、卒業式では、現役最後の熱い想いを述べて頂き、誇りある組織の一員として、他者のために自らが熱源となり公に貢献し続ける高い志を抱いたメンバーを創出することが出来たと確信しております。



委員長
折竹 一郎

スタッフ

幹事	副委員長	委員
高橋 秀智	小山 徹	秋吉 忍 伊津 元博 梶島 翼 田口 善隆 西井 重超 古山 久幸 門田 明広 和田 良太
長谷川 陽介	田儀 利明	安部 穣之 大竹 基之 岸 磨沙美 田淵 慎哉 半田 貴子 細井 信秀 山出 敬太郎
飛渡 實之	長尾 朋成	新居 壮治 大宗 燿義 胡内 孝美 土井 龍輔 東原 栄志 堀北 晶子 山佳 誠秀
茗荷 崇之	平井 直哉	栗田 涼子 大村 雅祥 篠原 立郎 十川 知芳 福川 聰志 前川 晃一 吉澤 宏之
	宮沢 孝児	石床 敏 岡本 真行 菅原 知 中谷 洋輔 福田 宏清 前田 嘉博 吉本 千春
		石丸 健 香川 正和 杉浦 由薰 中村 桂 福西 映也子 増田 正基 淀 洋和
		市山 慎一 金本 裕己彦 鈴木 一宏 中村 圭佑 藤重 智明 門司 秀晃 米村 栄一



子どもの「和」創造室

Office to Create Children's Harmony

未来へ、生きて行く力を育もう！

家族の「和」創造委員会

子どもの「和」育成委員会

社会と子どもの「和」創造委員会

本年度、私たち子どもの「和」創造室では、想い描く夢に向けて果敢に挑戦し、取り巻く人びとと共に歩む力を備え、過去から承継されてきた和の心を理解し、闊達で豊かな心を携え、自らの経験や価値観を軸に前向きに行動する子どもを溢れさせなければならないと考えました。そのためには、力強く生きる知恵を贈り継ぎ、想い描く夢の実現に向け共に成長し、人が元来持ち合わせている感性を最大限発揮させ、人びとのつながりの中で歩み育てていく喜びを拡げ、すべてを包み込む深い愛情を育む気概を持った人びとを溢れさせることを目的に様々な運動を展開して参りました。

家族の「和」創造委員会では、家族対象を絞り、子どもを育てる大人たちに、子どもの心を深い愛情で包み込む意識を高めてもらうことを基本方針として掲げ、本年度で第33回を数えるわんぱく相撲を開催いたしました。大阪市教育委員会をはじめ多くの皆様、ボランティアの皆様にご協力を頂戴し、900名を超える大阪市内の小学生、保護者の皆様にご参加頂きました。また、幼児を対象に参加を募り、100名を超える参加があり、未来に対して、新たなわんぱく力士になる礎を築くことが出来ました。そして、「昔遊び」と称し、現代の遊びとは違う昔からその地域に伝わる遊びを一緒にを行い、伝統などの想いを受け継ぐ重要性を感じてもらいました。

子どもの「和」育成委員会では、大きな夢を描く自由闊達な子どもたちを溢れさせることを基本方針として掲げ、大阪キッズアドベンチャーを開催いたしました。大阪市教育委員会をはじめ、各地域の商店街、父兄の皆様にも多大なるご協力を頂戴し、応募段階から600名を超える応募があり、厳正なる抽選の中から100名の小学生・中学生に参加頂きました。そして、日常生活では、味わうことのできない中央卸売市場での競りの体験、大阪市共同溝見学、寺院での宿泊、そして40キロにもおよぶウォーキングを実施でき、子どもたちの自由闊達な心を育めたと感じています。

社会と子どもの「和」創造委員会では、地域の大人たちに、地域全体で見守り育てていく意識を高めていくことを基本方針として掲げ、大阪市内各小学校で、出前授業を実施致しました。子どもに、実際の仕事の内容、それを体験してもらい将来の夢を創造してもらい、大人が、社会とのつながり、夢に向かって歩む道筋を示すことの重要性を感じてもらいました。

本年度、子どもの「和」創造室では、「未来へ、生きていく力を育もう！」を室テーマに掲げ、様々な事業を行い、各委員会が力を合わせることで、世界に誇る「和」のまち大阪を実現することが出来ました。一年間ありがとうございました。



室長

岡部 倫典

家族の「和」創造委員会

Committee to Create Family Harmony

基本方針 子どもの心を深い愛情で包み込む意識を高めていきます。

事業計画

私たちちは、先人から受け継いできた価値観を尊重し、夢の実現に向けて挑戦する前向きな気持ちへと導き、取り巻く人びとと支え合い助け合うことの大切さを伝え、力強く生きていくための経験則を贈り継ぎ、子どもの心を深い愛情で包み込む意識を高めていきます。

事業報告

1. 家族の「和」創造事業の企画と実施

事業の内容 家族の「和」ーランドカップ

実施日時 6月22日(土) 9:00~18:00

場所・会場 大阪市中央体育館

参加人数報告 計画:子ども1,500人 結果:974人

実施方法の工夫 本年度は新たな取り組みとして、未就学児を対象としたわんぱく相撲大会を開催し、より多くの対象者に事業に参加いただけるように工夫をしました。

事業目的に達した点 各土俵での取組時の礼をする場を提供することによって、また、琴欧洲親方が家族について語ることを聞くことによって、大人が子どもが相手を敬う気持ちと礼儀をもって接することの大切さを体感し認識することができました。
そして、親子がメッセージを書くことによって、夢の実現に向けて挑戦する前向きな気持ちへと導く意識を高めることができました。また、子どもたちが相撲を取り組む姿を見守る場を提供することによって、ものごとに真剣に取り組む子どもの表情を感じてもらうことができました。

事業目的に達しなかった点 特になし

2. 全体事業の準備と参画

事業の内容 ばっくり製作体験 昔遊び縁日あてもの屋 親子相撲

実施日時 10月18日(土)・19日(日) 11:00~18:00

場所・会場 大阪城公園西の丸庭園

参加人数報告 計画:200人 結果:421人

実施方法の工夫 全体事業において親子相撲を実施することで、わんぱく相撲に参加して頂いた家族にも参加頂けるように工夫をしました。

事業目的に達した点 家族で昔なつかしい遊びや親子相撲をしてもらうことによって、過去から受け継がれてきた知恵が未来の自分を形成していく重要な礎となっていることを伝える意欲を高めてもらうことができました。

事業目的に達しなかった点 特になし



私たち家族の「和」創造委員会は、先人から受け継いできた価値観を尊重し、夢の実現に向けて挑戦する前向きな気持ちへと導き、取り巻く人びとと支え合い助け合うことの大切さを伝え、力強く生きていくための経験則を贈り継ぎ、子どもの心を深い愛情で包み込む意識を高めていくことを目的として活動を行ってまいりました。

まずは、家族の「和」一環をカップと題した家族の「和」創造事業を開催し、そのなかで第33回大阪市長杯わんぱく相撲大会をはじめ、昔遊びや元大関・琴欧洲のトークショーを通じて、他者を思いやる気持ち、そして礼節を重んじる心の大切さを伝えました。また、本年度は新たな取り組みとして、やるキッズわんぱく相撲と題し、従来の小学生だけでなく、未就学児を対象としたわんぱく相撲大会を開催し、勇気をもって挑戦する子どもの可能性を広げていくことが、子どもを見守り育てる私たち大人の使命であることを自覚するとともに、あわせて子どもたちの純粋な気持ちを汲み取っていく感性を高めてもらいました。さらに、全体事業の準備と参画では、ぱくく製作体験や昔遊び縁日、親子相撲を通じて、過去から受け継がれてきた知恵が未来の自分を形成していく重要な礎となっていることを伝える意欲を高めてもらうことができました。さらに、家族会の企画と実施において、子どもの将来にとって他者と支え合い助け合って生きていくことの重要性を伝え、家族の「和」を創造し、もって、世界に誇る「和」のまち大阪を実現することができました。

最後になりますが、本年度1年間、家族の「和」創造委員会に賜りましたご支援・ご厚情に対しまして心から御礼を申し上げまして、締めくくりの挨拶とさせて頂きます。本当に有難うございました。



委員長

大西 雅也

スタッフ

幹事	副委員長	委員
菊地 正吾	河野 尚樹	赤坂 将太郎
田中 忠和	杉山 一穂	大西 浩平
三木 章広	橋谷 隆弘	阪口 小百合
森山 光樹	寺岡 龍朗	竹内 一真
	泉田 裕史	長崎 忠雄
	神崎 裕子	西口 司朗
	洲鎌 智	二村 伸紀
	道風 真里子	西田 伸祐
	鈴木 あかり	堀江 雄一郎
	中井 章裕	新田 雄士
	行方 正樹	松川 浩士
	成田 豊	山崎 克将
		宮秋 賢三
		三好 雅彦
		山本 義継
		矢本 浩教
	圓藤 政臣	濱口 忠
	後藤 光代	武藏 国弘
	高橋 和哉	
	中井 智子	





子どもの「和」育成委員会

Committee to Nurture Children's Harmony

基本方針 大きな夢を描く自由闊達な子どもを溢れさせます。

事業計画

私たちちは、異なる価値観を受け止める素直な心をもち、自身を取り巻く様々な繋がりの中で生かされていることに感謝し、夢と希望溢れる次代へともに歩む仲間を思いやり、失敗を恐れることなく前向きに挑戦し、大きな夢を描く自由闊達な子どもを溢れさせます。

事業報告

1. オリエンテーション

事業の内容 子ども:事前説明会、素直な心発見プログラム(アイスブレイク)の実施。保護者:事前説明会、外部講師基調講演の実施。

実施日時 10月5日(日)／14日(火)

場所・会場 大阪市立こども文化センター／事務局

参加人数報告 計画:子ども:100人 保護者:100人 合計:200人 結果:子ども:100人 保護者:145人 合計:245人

実施方法の工夫

- 子ども向けオリエンテーションでは、事業当日に向けて初めて顔合わせをするチームメイトと打ち解け易いようにアイスブレイク(アイスブレイクゲーム、チームフラッグ作成等)に参加してもらいました。また、事業当日の歩行隊形等を実際に身体を動かして体験してもらうことで、事業の理解を深めてもらいました。
- 保護者向けオリエンテーションでは、子どもの心を育むために原体験が重要であることを伝えるため、外部講師による基調講演を実施しました。また、事業内容や安全性を理解いただくため、質疑応答をメインにした説明会を実施いたしました。

事業目的に達した点

アンケートによりオリエンテーションの効果を確認することが出来ました。

●子どもの声:例

Q1. チームメイトの話をしっかり聞くことはできましたか?

→できた91%

Q26. 今回参加してみて何か気づいたり、感じたりしたことはありますか?

→こんなに短時間で仲良くなれたのがとても良かった。等

●保護者の声:例

Q1. 大阪キッズアドベンチャーの内容を理解することができましたか?

→理解できた99%(事前に開催いただいたオリエンテーションが丁寧な内容でしたので充分に理解できました。等)

Q2. 大阪キッズアドベンチャーの安全性をご理解いただけましたか?

→理解できた97%(オリエンテーションで十分に説明があり把握できた。医者の常駐、水分補給の配慮など。)

事業目的に達しなかった点

なし。

2. 大阪キッズアドベンチャー

事業の内容 学校も年齢も違う小学校4年生～中学校2年生までの10人が一つのチームとなり、大阪市内各所のチェックポイントを通過し、行程に用意された課題をクリアしながら40km先のゴールを目指すウォークラリーという体験を通じ、互いを大切に想い協力し合う子どもの同士の「和」の関係を構築する子どもの心を育成する体験事業。

実施日時 10月18日(土)・19日(日)

場所・会場 大阪市中央卸売市場、御堂筋共同溝、大阪城 他市内各所

参加人数報告 計画:子ども:100人 合計:100人 結果:子ども:100人 合計:100人

実施方法の工夫

- チームメイトとともに、ゴールをした際に最高の達成感が味わえるよう、小学生が歩き切れる距離の設定等コース選定に重点を置きました。また、各チェックポイントに用意した課題においても、チームメイトと互いに助け合い協力しないとクリアできないものを選定しました。
- 体力的に小学生に勝る中学生においては、リーダー役を担ってもらい、体力以外の心の部分でトレーニングとなる工夫をいたしました。

事業目的に達した点

アンケートにより大阪キッズアドベンチャーの効果を確認することが出来ました。

子どもの声:例

●素直な心

Q5. チームメイトの話を聞くことの大切さを感じることはできましたか?→できた97%

●感謝する心

Q10. 「感謝する」ことの大切さを理解することができましたか?→できた91%

●思いやる心

Q15. チームメイトのことを想う気持ちの大切さに気付きましたか?→できた92%

●挑戦する心

Q20. 前向きに挑戦することの大切さを感じることができましたか?→できた91%

●自由闊達な心

Q25. 自分自身の夢をもつことができましたか?→できた92%

Q26. 今回参加してみて何か気づいたり、感じたりしたことはありますか?

→初めて会う子でも仲良くできて、みんなそれぞれ考え方が似ていると思った。

ふだんでききないことにちようせんしてみて、自信がもてた。等

以上の結果より、互いを大切に想い協力し合う関係が構築され、子ども同士の「和」が育成されました。

事業目的に達しなかった点

なし。

3. 体験発表会

事業の内容

事業を通じて感じたことや、自身の持つ夢を多くの仲間や保護者をはじめとする大人たちの前で発表することで、自由闊達な心を育成する体験事業。

実施日時

10月19日

場所・会場

大阪城公園西の丸庭園内・迎賓館

参加人数報告

計画: 子ども:100人 保護者:100人 合計:200人 結果: 子ども:100人 保護者:186人 合計:286人

実施方法の工夫

- ゴール直後の達成感と自信を持った状態で発表するタイミングを選定しました。保護者も知らなかったような自身の持つ夢を、臆することなく安心して発表できる雰囲気作りに注力しました。
- 発表準備として、オリエンテーション後の宿題含む、2日間の行程のなかに自由闊達プログラムを実施し、子どもたちが自身の夢やチームメイトの夢について大いに語り合い、考える機会を提供しました。

事業目的に達した点

アンケートにより体験発表会の効果を確認することが出来ました。

● 子どもの声: 例

Q21. チームメイトと将来について語り合うことができましたか? → できた85%

Q22. 目標をもつことの大切さを感じることができましたか? → できた92%

Q23. チームメイトの話を聞き、いろいろな夢があることを知ることができましたか? → できた97%

Q24. 夢について話しあうときに、ワクワクドキドキしましたか? → した98%

Q25. 自分自身の夢をもつことができましたか? → できた92%

以上の結果より、自由闊達な心を育成することができました。

● 保護者の声: 例

Q6. 体験発表会での発表をお聞きになり、お子様の成長を感じることができましたか?

→今まで「なりたい自分」や「将来やりたいこと」を全く話してくれなかったのに、今回の発表で初めて聞いて少し驚きと同時に嬉しく思いました。等

Q7. 体験発表会でのお子様の夢をお聞きになり、どのように感じられましたか?

→人の前で自分の夢を発表でき、自信がついたのかなと感じました。等

Q8. 何かお気づきの点や感じられたことはありましたか?

→我が子の学校ではインターナショナルバカロレアカリキュラムを実施していて、そのカリキュラムの中で社会との関わりを実践的に学ぶ為の時間があり、大阪キッズアドベンチャーの企画を参考にして頂きたく学校のカリキュラム会議に提出しました。等

事業目的に達しなかった点

なし。

私たちは、「和」のまち大阪の実現のために、自由闊達な子どもをまちに溢れさせる運動として、【子どもの「和」育成事業】(大阪キッズアドベンチャー)を実施させて頂きました。

特色として、大阪市内の小学校4~6年生、中学校1~2年生を対象に応募を行い、抽選で選ばれた学校や年齢の異なる100名の子どもたちを10チームに分け、チーム内で一人ひとりに様々な役割を担ってもらい、2日間で40km先のゴールを目指すウォークラリーを行いました。

大阪市内各所に設けられた14のチェックポイントを順次通過する過程で、普段の生活で体験することのない課題を克服したり、普段は立ち入りが許されない場所を探検したりする、子どもたちの心を育むための様々なプログラムを行いました。

つい昨日まで互いに面識のない子どもたち同士が、様々な体験を通じ、様々な試練や寝食をともにしながら心を通わせ合い、互いを大切に想い協力し合う「和」の関係を構築し、ゴールを目指しました。ゴール直後に実施しました体験発表会では、達成感と自信で満たされた状況下、事業を通じて感じたことや自身の持つ夢を仲間や多く大人の前で発表してもらいました。保護者も驚くような大きな夢を、皆が見守るなか熱く語ってもらうことができました。

私たちは、異なる価値観を受け止める素直な心をもち、様々なつながりの中で生かされていることに感謝し、次代へとも歩む仲間を思いやり、失敗を恐れず前向きに挑戦し、大きな夢を描く自由闊達な子どもを溢れさせ、世界に誇る「和」のまち大阪を実現いたしました。

最後になりますが、ご協力頂きました大阪市教育委員会様をはじめとする行政の皆様、学校関係者の皆様、市民・各企業・団体の皆様に心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。



委員長

川田 貴亮

スタッフ

幹事

安部 久史
荒西 将志
小田 和幸
佐々木 清一

副委員長

柏谷 徳雅
後藤 晋司
竹澤 理
濱野 裕司
柳 智也
上野 剛嗣

委員

足立 崇
有川 陽介
大南 勝範
五島 良平
高橋 弘樹
高橋 佑太
坂本 慶太郎
高松 忠紀
重田 博志
河村 章
神崎 修一
松田 訓之
瀬川 文武
北野 紀衡

委員

高橋 顕明
高橋 弘樹
高橋 佑太
坂本 慶太郎
高松 忠紀
重田 博志
河村 章
神崎 修一
松田 訓之
瀬川 文武
竹村 紀宏

委員

玉木 智哲
中馬 和子
塚本 康晴
東 壮一
堤 大助
高木 篤義
中川 利治
姫嶋 大輔
中村 周造
深田 博司
藤岡 亮
土生 康晴
東 壮一
堤 大助
高木 篤義
中川 利治
姫嶋 大輔
中村 周造
深田 博司
藤田 恭子
吉川 健一郎
古川 健一郎
松本 崇
山口 貴士
山崎 由佳



社会と子どもの「和」創造委員会

Committee to Create Society's and Children's Harmony

基本方針 地域全体の温もりで見守り育てていく意識を高めていきます。

事業計画 社会との様々なつながりを大切に想い、子どもたちが夢に向かって歩んでいく道筋を示し、希望に溢れた未来を創造していく気概を有し、光り輝く未来に向けて逞しく生きていく判断軸を育み、地域全体の温もりで見守り育てていく意識を高める事を目的とします。

事業報告

1. プレ社会人講師事業

事業の内容 わんぱく相撲開催時に、親子で体験できる職業体験授業を開催し、参加した保護者の方から講師の募集を行いました。
実施日時 6月14日(土)
場所・会場 大阪市中央体育館
参加人数報告 計画:400人 結果:600人
実施方法の工夫 ポルトボルズのサイエンスショーを呼び水として、たのしく親子で挑戦できる職業体験を企画しました。
事業目的に達した点 子どもたちが夢に向かって歩んでいく道筋を示す意識を高めていきます。
事業目的に達しなかった点 特に無し

2. 社会人講師事業

事業の内容 大阪市内の小中学校にて、出前授業を60コマ開催し、子どもたちに様々な職業について見てふれて知って頂くことで、その子どもたちを見守り育てる大人の意識を高める事業です。
実施日時 9月より随時
場所・会場 大阪市内の小中学校
参加人数報告 計画:市内60授業 結果:現在40授業、来年3月までに残り20授業予定
実施方法の工夫 出来る社会人講師マニュアルをもじいて、授業の準備打合せを入念に行い対象学年に合わせた飽きさせない授業が実施出来ました。
事業目的に達した点 ●希望に溢れた未来を創造していく気概を有する意識を高めていきます。
●地域全体の温もりで見守り育てていく意識を高めていきます。
事業目的に達しなかった点 特に無し

3. 全体事業への参画

事業の内容 大阪城西の丸庭園にて職業体験ブースを10ブース企画し実施しました。
実施日時 10月18日(土)・19日(日)
場所・会場 大阪城公園西の丸庭園
参加人数報告 計画:1,060人 結果:938人(アンケート回答者のみ)
実施方法の工夫 自衛隊・消防・警察と普段体験できない市民を守る職業体験も取り入れ、各種特殊車両の展示も行うことが出来たので、多くの市民の参加者に来て頂けた。
事業目的に達した点 光り輝く未来に向けて逞しく生きていく判断軸を育む意識を高めていきます。
事業目的に達しなかった点 特に無し

私たちは、世界に誇る「和」のまち大阪を実現するために、一年を通して、次代を担う子どもたちを地域全体の温もりで見守り育てていく大人の意識を高める運動として、【社会と子どもの「和」創造事業】（社会人講師授業）を行わせて頂きました。

本年度の社会人講師事業の特色としては、土曜日授業を中心に保護者参観型の授業を開催することで、保護者の方々に直接子どもたちが様々な職業の講師の授業に触れて輝かせている瞳や表情を目があたりにして頂く事が出来ました。

これにより、多くの保護者の中からも自ら出前授業の講師として教壇に立ってみたいと思って頂く事が出来たと感じております。

また、学校の先生や講師の方々からも子どもたちの未来を創造していく可能性を拓げることが出来たと感じて頂き、また子どもたちの個性や創造力を引き出すために重要な授業であると感じて頂く事が出来ました。

そして、大阪青年会議所のメンバーの中で社会人講師事業への参加希望者が年々増加している背景には、子どもたちが幼少期に様々な職業に触れる事で、色々な大人のカッコいい背中をみて将来社会に出た際の原体験をする事が大事だと感じているからだと思います。

様々な大人と触れる事で、現代社会に蔓延するコミュニケーション不足であったり、地域のコミュニティの希薄化、子どもたちが夢を描きにくい状況が少しずつ改善していっての状況に直接触れる事の出来る素晴らしい事業であると私自身が一番感じる事ができました。

昨今、企業のCSRを兼ねた出前授業は多く実施されてきております。今後は更に大阪青年会議所でしか出来ない出前授業を探求し、更なる運動発信をして頂ける事をご祈念申し上げます。

最後になりますが、一年間を通してご協力いただきました行政、学校、各種団体、企業、個人のみなさまに心より感謝申し上げます。

本当に有難うございました。



委員長
前田 豊紀

スタッフ

幹事	副委員長	委員
井上 和樹	坂 昌樹	青木 信成
島 哲士	坂井 征司	青山 達至
板東 学	鈴木 圭史	浅田 雄太
森井 智士	中神 明生	新井 一秀
	八木 重治	入江 薫
		上村 千代
		片山 陽子
		熊野 賢
		高知 誠
		斎藤 町子
		阪野 純理
		塙田 祐大
		清水 勇宏
		下岡 佑一郎
		赤代 理史
		瀬上 由布子
		高岸 佳弘
		高室 直樹
		田中 大輔
		田中 良明
		土山 貴浩
		磨谷 慎太郎
		中川 貴嗣
		田中 大介
		西川 智之
		畠 伸太郎
		藤田 温香
		船倉 亮慈
		村治 規行
		室谷 光一郎
		森下 真男
		森村 洋右
		山本 育
		吉谷 泰彰
		和多田 泰久





まちの「和」創造室

Office to Create Community Harmony

心の通う繋がりを、この大阪に！

義理人情の大阪確立委員会

大阪の誇り承継委員会

大阪の「和」創造委員会

本年度は、世界に誇る「和」のまち大阪を実現するために、まちの「和」創造室では、「心の通う繋がりを、この大阪に！」をテーマに、まちの人びとが互いのことを思いやり行動できる心温かな関係が必要だと考え事業展開を致しました。そのためには、これからの中未来を担う世代、現在主体者として行動する市民や学校・企業・行政・各種団体、そして、これまで時代を担ってきた先人たちが、自身を取り巻く人びととの幸せを願い、自らがすむまちの未来のために、主体的に行動する人びとを増やしていくことが先決であると考えました。

大阪の誇り承継委員会では、先人が築き上げてきた大阪の歴史を学んでもらい、自身がすむまちへの愛着心を呼び起こし、より良いまちにしようと行動していく人びとを増やすために、全体事業（OSAKAキャッスル☆ハッスル2014）の場で、大阪検定、ウォークラリーを行い、淀川河川敷では、淀川「花は咲く」プロジェクトを展開しました。

また、大阪の「和」創造委員会では、大阪で活動する主体者が互いに力をあわせ、補い支え合える関係構築に向けて、ささえあいプロジェクト、全体事業（OSAKAキャッスル☆ハッスル2014）を展開しました。

そして、義理人情の大阪確立委員会では、次代を担う学生が、これまで大阪のまちを企業人として支えてこられた11人の講師によって、なにわ商人の「心意気」を学び、自らが今後どのような「心意気」をもって行動すべきかを考える「心意気」育成塾を開催しました。

人びとの意識を変えること、まちを変えることは短期間でできることではありません。小さな成功体験の積み重ねを経て、協働が協働を生むように拓げていかなくてはなりません。

これら3委員会の事業は、一過性の運動に留まらず、自然と他者に対して手を差し伸べる感性を育み、これまで先人が築き上げてきた誇るべき価値と、時代とともに必要となる新たな価値とを有機的に融合を図り、持続的に行動する人びとを生みだす一歩となりました。

最後に、ご協力頂きました、たくさんの市民・学校・企業・行政・各種団体の皆様に心より感謝申し上げます。



室長

大野 育生

義理人情の大阪確立委員会

Committee to Create an Osaka of responsibility and compassion

基本方針 自らが主体者として取り組む心意気ある人をまちに溢れさせます。

事業計画 問題に取り組む人びとの想いを汲み取り、あらゆる者の支えによって自身が成り立っていることに感謝を抱き、人びとが求めるまちの姿を的確に捉え、互いを成長させる有益な関係を有し、自らが主体者として取り組む心意気ある人をまちに溢れさせることを目的とします。

事業報告

1. 全体事業の準備と参画

事業の内容	「心意気」育成塾
実施日時	10月18日(土)・19日(日) 08:30~24:00
場所・会場	大阪マーチャンダイズ・マート・クロスウェーブ梅田
参加人数報告	計画:大学生50人 結果:41人
実施方法の工夫	本年度は新規事業として、大学生を対象とした「心意気」育成塾を開催し、より多くの対象者に事業に参加いただけるように大学のホームページや掲示板に掲載して頂きました。
事業目的に達した点	自分たちのまちは自分たちで創るという人情味溢れるかけがえのない無償の愛を捧げる心意気ある人びとを増やせました。
事業目的に達しなかった点	学生の参加人数が予定を下回り、自らが主体者として大阪のまちに取り組む意識を十分に発揮することができませんでした。



本年度の義理人情の大阪確立委員会は、問題に取り組む人びとの想いを汲み取り、あらゆる者の支えによって自身が成り立っていることに感謝を抱き、人びとが求めるまちの姿を的確に捉え、互いを成長させる有益な関係を有し、自らが主体者として取り組む心意気ある人をまちに溢れさせる事をミッションとして活動して参りました。そのために、これから社会に出ていく大学生を対象に「心意気」育成塾を一泊二日にわたり開講いたしました。

その前にプレ事業として大阪企業家ミュージアムにて館長による特別見学・説明会・グループワークを行い、自立自助の気概をもって自らの社会や街づくりを担ってきた「企業家精神」を学んで頂き、大阪のまちが「民」の力により創られてきたことを汲み取ってもらいました。そして二日間の本事業では大阪にゆかりのある 11 人の企業人を講師としてお招きし、企業が経済活動を通じて社会に貢献してきた時代背景や築きあげてきた志を大学生に受け継いでもらい、いま自分が何気なく生活できているのは家族や友人だけでなく、人びとの幸せや、まちの発展を願い活動している目に見えない多くの人びとのおかげで成り立っていることを自覚してもらい、まちに溢れるあらゆる情報の中から解決すべき潜在的な問題を的確に捉える感性を育んでもらい問題解決に取り組む意欲と活動の成果をより高めるために、互いの考え方を積極的に取り入れる有益な関係を構築してもらいました。そして自分たちのまちは自分たちで創るという人情味溢れるかけがえのない無償の愛を捧げる心意気ある人びとをまちに溢れさせ、世界に誇る「和」のまち大阪を実現することができました。



委員長
長岡 泰史

スタッフ

幹事	副委員長	委員
川瀬 裕介	奥野 誠司	渥美 宙
近藤 陽介	瀧本 豊	上村 敦大
古庄 敏之	池上 恒介	島田 健作
松本 篤志	藤浪 寛	成田 圭子
	石原 義明	平松 澄子
	奥田 勇	松浦 太郎
	節和 寿志	松島 慎治
	長谷川 実雄	村上 亮介
	藤尾 雄一	本岡 佳小里
	丹波 英太郎	松山 和徳
	林 弘治	森川 祐樹
	藤澤 泰子	丸富 成日
	原田 裕康	安田 威
	藤村 一朗	美崎 伸明
	堀田 剛基	横 大貴
	水野 成浩	若松 耕三
	日野岡 信一朗	和田 益明
	前田 貴弘	宮崎 俊隆
	吉田 直人	
	石元 篤	
	尾崎 宏明	
	今井 昌明	
	加藤 元之	
	岩永 憲浩	
	亀井 正智	
	長友 儘	
	久留 篤	
	上野 肇公	
	草分 陽一	
	永本 俊秀	





大阪の誇り承継委員会

Committee for Inheriting Osaka's Sense of Pride

基本方針 他者のために尽くす想いを次代に引き継いでいく凜々しい人をまちに溢れさせます。

事業計画 私たちは、先人たちが弛みなく挑戦してきた熱い想いを汲み取り、住み暮らすまちへの愛着心を抱き、身近な人びとの想いやりの心で満たされ、まちの未来を切り拓く意志を携え、他者のために尽くす想いを次代に引き継いでいく凜々しい人をまちに溢れさせます。

事業報告

1. 3月 淀川「花は咲く」プロジェクト 菜の花開花

事業の内容 昨年度から続く、淀川「花は咲く」プロジェクト菜の花開花イベントにて、みどり基金贈呈セレモニー、雑草引きを実施しました。

実施日時 3月21日(金)

場所・会場 淀川河川敷(南岸)

参加人数報告 計画:市民:100人 メンバー:131人 合計:231人
結果:市民:37人 メンバー:116人 合計:153人

実施方法の工夫 600mの河川敷会場に咲き乱れる菜の花を観察しながら、想いをもって行動してきた結果、自分たちの行動で少しづつまちが変わることを実感してもらうことで、未来の姿に向けて解決すべき課題に取り組んだ自身の体験を思い出してもらいました。

事業目的に達した点 参加頂いた市民の皆様には、未来に向け自らが取り組む意欲をもって頂き、他者の為に行動し続ける意欲をもっていただきました。

事業目的に達しなかった点 目標人数を達成できず、特に一般市民の参加が少なかったことで、多くの市民に運動発信をするという観点では目的に達し無かった。

2. 7月 淀川「花は咲く」プロジェクト コスモス種まき

事業の内容 これまでの活動をパネル展示にて思い返してもらいつつ、コスモスの種まきイベントとして、雑草引き・種まきに参加してもらいました。

実施日時 7月12日(土)

場所・会場 淀川河川敷(南岸)

参加人数報告 計画:市民:125人 メンバー:142人 合計:267人
結果:市民:63人 メンバー:153人 合計:216人

実施方法の工夫 子どもたちにも楽しんでもらえるように、草すべりや昆虫・野鳥観察を同時にを行い、種まき後、コスモスが開花した際にも参加を促すために、「想いやの種ポット」を持ち帰り頂きました。

事業目的に達した点 参加頂いた市民の皆様に、地域への愛着心を抱くきっかけを提供することができ、雑草抜き及びコスモスの種まきという継続的な取り組みを通じて、自らの活動が身近な多くの人を支えているということに気付いてもらいました。

事業目的に達しなかった点 目標人数を達成できず、特に一般市民の参加が少なかったことで、多くの市民に運動発信をするという観点では目的に達し無かった。

3. なにわ淀川花火大会

事業の内容 7月に地域の企業や商店の方々に花火大会への協賛をつのり、地域を元気にする活動への参画を訴えました。
当日は雨天により中止となりました。

実施日時 7月、8月9日(土)・10日(日)

場所・会場 淀川河川敷

参加人数報告 計画:●8/9 ボランティア:237人 メンバー:376人 合計:613人
●8/10 ボランティア:500人 メンバー:376人 合計:896人
結果:●8/9 ボランティア:105人 メンバー:470人 合計:575人
●8/10 ボランティア:694人 メンバー:346人 合計:1,040人

実施方法の工夫 ボランティアに参加してもらうだけでなく、花火大会の場を通じて一般の市民に対しても花火に取組む地域を良くしていこうとする想いを伝える為に、事前の協賛のお願いや、当日の分別回収についてをホームページやfacebookにて伝えました。

事業目的に達した点 残念ながら中止となり事業ができませんでした。

事業目的に達しなかった点 残念ながら中止となり事業ができませんでした。

4. 全体事業 (なにわ大阪検定・大阪歴史クイズラリー)

事業の内容	大阪城を歩きながらチェックポイントにてクイズに答える「大阪歴史クイズラリー」。 3つの時代に分けた大阪検定の問題に挑戦してもらいました。
実施日時	10月18日(土)・19日(日)
場所・会場	大阪城公園西の丸庭園
参加人数報告	計画:市民:700人 メンバー:120人 合計:820人 結果:市民:1,630人 メンバー:56人 合計:1,686人
実施方法の工夫	大阪観光ボランティアガイド協会、大阪商工会議所の協力により、楽しく大阪の歴史や文化を学んで頂くことに注力しました。
事業目的に達した点	予定以上の多くの市民の皆様に、過去から脈々と受け継がれてきた有形無形の財産に込められた先人たちの想いに関心をもってもらいました。
事業目的に達しなかった点	特になし。

5. 11月 淀川「花は咲く」プロジェクト コスモス開花 スケッチ大会

事業の内容	予定していた11月1日は雨天となりましたが、次の日に順延となり、子どもにはコスモスのスケッチ大会、大人は雑草引きなどを行って頂きました。
実施日時	11月2日(日)
場所・会場	淀川河川敷(南岸)
参加人数報告	計画:市民:170人 メンバー:97人 合計:316人 結果:市民:62人 メンバー:97人 合計:159人
実施方法の工夫	スケッチ大会の表彰式に地域活動協議会会長に出席頂き、選考表彰に参加頂きました。
事業目的に達した点	地域と行政、大阪青年会議所で美化した場所を子どもたちに描いてもらうことで、地域に関わることで人の幸せに繋がることを体感してもらい、参加者に自分たちが美化した地域を子どもたちが描いている姿をみてもらうことで、子どもたちのために自分たちのまちを守っていく意識を高めもらいました。
事業目的に達しなかった点	順延したことで参加人数が減少しました。今後より地域活動協議会などの地域団体との連携をさらに深める必要があります。

私たちの大坂の誇り承継委員会では、元来大阪の人びとが持っていた、他者に対して思いやりをもって接し、他者の為に尽くす想いを次代に引き継いでいく人びとを増やすことを目的に、全体事業(OSAKA キャッスル☆ハッスル 2014)の場で、大阪検定、ウォークラリーを実施し、淀川河川敷では、淀川「花は咲く」プロジェクトを行いました。

まず、全体事業(OSAKA キャッスル☆ハッスル 2014)での大阪検定、ウォークラリーは、大阪商工会議所やボランティアの方々と連携し、先人たちが築き上げてきた大阪の歴史や文化を市民の皆様に知って頂くことで、自分たちの住むまちはたくさん素晴らしい部分が存在することを感じて頂き、まちに対する愛着心を高めて頂きました。

そして、去年に引き続き、淀川河川敷を対象に、淀川「花は咲く」プロジェクトを実施致しました。地域に住む人びとが、自分たちの住むまちは自分たちの力で良くしていくという想いを高めもらい、持続的な活動へと成長してもらうことを目標に事業を行いました。以前は不法投棄・不法耕作がされた場所でしたが、地域の企業、行政、そして今年は地域活動協議会の皆様との連携をおこなうことにより、みちがえるような綺麗な場所に変わっていきました。

今後も様々な地域の方々が連携し、この取り組みが拡がっていくことを願い、今年度ご協力いただきました皆様に対して改めて感謝と御礼を申し上げます。一年間ありがとうございました。



委員長
藤井 章弘

スタッフ

幹事	副委員長	委員
狩野 雅彦	伊藤 豊	赤坂 祐一
河田 英之	大東 俊也	大道 誠
白井 輝良	須磨 勇	川上 碩
多田 雄一	谷川 安徳	税所 直子
	堀越 博一	高瀬 隆之
		長野 裕樹
		髙橋 華奈子
		能村 晋太郎
		星山 樹賢
		田中 大介
		服部 悠介
		松下 正平
		田中 恵美
		羽根 亨
		松原 誠道
		角田 英二郎
		丸山 浩介
		徳矢 卓洋
		原 英彰
		東浦 光利
		大谷 賢二
		梶木 太嗣
		小松原 徳人
		瀬川 岳夫
		飛松 智志
		安井 将祐



大阪の「和」創造委員会

Committee to Create Osaka Harmony

基本方針 未来の礎となる持続的な関係を生み出す感性豊かな人をまちに溢れさせます。

事業計画 私たちは、あらゆる繋がりの中で生かされていることに感謝し、他者が取り組む活動への想いを受け止め、果たすべき役割を俯瞰的に捉え、まちの抱える問題が解決していく姿を想い描き、未来の礎となる持続的な関係を生み出す感性豊かな人をまちに溢れさせます。

事業報告

1. 災害復興支援（寄付型自動販売機）

事業の内容	寄付型自動販売機を通して社会福祉協議会と設置者、メーカー、まちの人びとを繋ぎまちの非常時に対しての意識向上と準備を進める事業
実施日時	4月25日(金)～12月31日(水)
場所・会場	無
参加人数報告	計画:対内:190人 対外:115,300人
実施方法の工夫	自動販売機に災害の際に避難のための目印となるような記をオプションにより記載できるようにしました。 ●この地点は海拔〇〇mです。 ●この近隣にお住まいの方のための避難所は〇〇です。 また、自動販売機へのラッピングに希望があれば設置企業名を掲載できるスペースを作りました。
事業目的に達した点	2011年から実施するこの事業において寄付型自動販売機の設置台数を伸ばすことができ、持続的にまちづくりにかかわる人びとを増やすことができました。
事業目的に達しなかった点	目標設置台数が当初の計画を大きく下回り、関わり頂けるまちの人びとの減少へと繋がりました。まちの主体者をまき込み大きく設置活動をする必要があります。

2. 災害復興支援（災害対策）

事業の内容	まちの非常時に起りうるあらゆる困難に対して、まちの主体者が解決していく為の一助となる意識向上事業
実施日時	7月28日(月)・8月27日(水)・9月27日(土)
場所・会場	中央公会堂 小集会室・阿倍野防災センター・あべのハルカス 会議室EF
参加人数報告	計画:7月28日 対内:56人 対外:150人 計206人 8月27日 対内:56人 対外:150人 計206人 9月27日 対内:56人 対外:100人 計156人 結果:7月28日 対内:31人 対外:106人 計137人 8月27日 対内:30人 対外:157人 計187人 9月27日 対内:25人 対外:82人 計107人
実施方法の工夫	第1回・第2回のセミナー講演において、切り口の大きく違うテーマとすることで幅広い参加を促しました。 また、第3回セミナーにおいては会場を大阪のまちが一望できる「あべのハルカス」とし、災害への意識向上をはかりました。
事業目的に達した点	大阪市港区をモデル地区として指定し、「大阪市港区防災サポーター登録制度」を発足させることができました。 また、第1回～第3回に渡り、多くのまちの主体者に参加して頂けたとともに、アンケート分析の結果からも、参加者に災害対策意識および、地域リーダーとしての感性を高めて頂くことができました。
事業目的に達しなかった点	第3回のセミナーの対外参加者が計画を下回る結果となった事について、第1回・第2回開催後の御礼と併せての次回実施案内を計画的に実施する必要があります。



3. 大阪の「和」創造事業の企画と実施

事業の内容	2014年度大阪青年会議所各委員会の運動を集約した全体集約事業
実施日時	10月18日(土)・19日(日)
場所・会場	大阪城公園西の丸庭園
参加人数報告	計画: 対内:914人 対外:49,000人 計49,914人 結果: 対内:613人 対外:24,064人 計24,677人
実施方法の工夫	食のブース、体験のブース、学びのブース、芸能のコンテンツなど様々なブースを出店することで、多様なニーズを捉えることで集客を促し運動の効果を高めました。 また、産経新聞大阪本社が主催する「大坂の陣合戦祭り」との同時開催とすることで大きく広報展開を実施しました。
事業目的に達した点	大坂の陣400年天下一祭の参画事業としてキャッスルハッスル2014、大坂の陣合戦祭りの同時開催とさせて頂き、各委員会においても様々なターゲットに対して事業を展開することで、学校・企業・行政など、多くの主体者の方々と事業を通じて大阪の「和」を創造することができました。
事業目的に達しなかった点	一般的の来場者が当初の計画を下回り、より多くの人びととの「和」を創造するという点では達成することができませんでした。また、関係団体との意思決定スケジュールの歩調を合わせることができず、事業実施までのスケジュールについて協議序盤での確定が必要あります。

4. 大阪の「和」創造事業の企画と実施(大阪の「和」創造委員会)

事業の内容	全体集約事業において大阪の「和」創造委員会が対象とする、まちの主体者の感性を磨く事業。
実施日時	10月18日(土)・19日(日)
場所・会場	大阪城公園西の丸庭園
参加人数報告	計画: 太鼓ブース300人 紙芝居ブース120人 グランド歌舞伎ブース80人 結果: 太鼓ブース650人 紙芝居ブース160人 グランド歌舞伎ブース110人
実施方法の工夫	大阪市が展開する大坂の陣400年天下一祭の参加事業として産経新聞大阪本社が主催する「大坂合戦祭り」との同時開催とすることで更に多くの主体者と共に運動展開することが出来ました。
事業目的に達した点	大阪の文化芸能に寄与する目的を掲げ、アーツサポート関西・大阪市音楽団・倭太鼓飛龍・太鼓正・紙芝居師など様々な文化芸能を守る主体者と共に事業を通じて大阪の「和」を創造することができました。
事業目的に達しなかった点	参画団体の確定が遅れたことにより、事前の合同練習などに時間が取れず、準備段階からの大阪の「和」を創造するには至りませんでした。多くの参画団体をまき込む為には早期の審議を目指す必要があります。

私たちは、世界に誇る「和」のまち大阪の実現に向けて、大阪のまちに「和」を創造するために活動してまいりました。

まず、「ささえあいプロジェクト(寄付型自動販売機)」では、何気ない生活の中で、まちを支えることへと繋がっていく寄付型自動販売機の設置を拡げることにより、多くのまちの人びとが、まちを支える活動へ参加して頂くことが出来ました。

そして、「ささえあいプロジェクト(災害意識向上セミナー・地域リーダー育成セミナー)」では、まちの主体者がより大きな成果を生み出す仕組みの実現をめざし、まちの問題をより効果的に解決していくための一歩を踏み出して頂くことが出来ました。

また、「OSAKA キャッスル☆ハッスル 2014」では、大阪市の展開する「大坂の陣 400 年天下一祭」参画事業として、「大坂の陣合戦祭り」と共同開催をし、その中において多くの主体者と共に事業を創り上げていくことで、それぞれが単独では成し遂げることのできない事業を通して、成果や感動を分かち合うことが出来、継続したまちの発展を牽引していく互いに補完し合える信頼関係を構築することができました。

私たちは、あらゆる繋がりの中で生かされていることに感謝をし、他者が取り組む活動への想いを受け止め、果たすべき役割を俯瞰的に捉え、まちの抱える問題が解決していく姿を想い描き、未来の礎となる持続的な関係を生み出す感性豊かな人をまちに溢れさせ、世界に誇る「和」のまち大阪を実現しました。

最後になりますが、ご協力頂きました市民・学校・企業・行政・NPO の皆様に心より感謝申し上げます。
本当に有難うございました。



委員長
森田 哲通

スタッフ

幹事	副委員長	委員
稻次 啓介	岡本 仁志	新井 康能
戎 健太郎	許 由希	安藤 大介
田中 英穂	永島 昭彦	坂本 哲平
刀祢 達哉	溝畠 泰生	竹下 洋司
	吉井 雅俊	玉山 貴詞
	大垣 有作	秦 龍藏
	吉井 雅俊	松下 昌史
	小倉 健宏	松田 晋
	古賀 大介	村上 覚朗
	昭野 元宏	松田 雅史
	西谷 俊也	吉井 将太
		森岡 智子
		横山 大典
		米山 さやの
		矢吹 保博
		山田 隆則
		山本 貴也
		山本 雅史
		横山 智子
		横山 大典



世界の「和」創造室

Office to Create International Harmony

Make a better world with harmony!

「和」の精神発信委員会

世界の「和」創造委員会

本年度、世界の「和」創造室では、世界の「和」を創造するためには、他者を思いやる心に溢れ、自らが生かされていることへ感謝し、互いに異なる価値観を真摯に受け止め、新たな価値を創造する柔軟性に溢れ、信じる道を愚直に歩み続ける日本の精神で人びとの心を繋げていく必要があると考え、世界の諸問題が自身に繋がっている事実を知り、先人から承継してきた独自の価値観を尊重し、日本の精神性が人びとを幸せに導ける可能性を信じ、理想の実現を想い描く想像力を持ち、和の心をもって世界へ羽ばたく国際人をまちに創出することを目的として、一年間運動を展開してまいりました。

本年度は世界の「和」創造室の事業として、「Break Through OSAKA 2014 EXPO ～大阪で国際交流を楽しむ2DAYS!～」と題して本年度で33回目となるTOYP事業と5回目の開催となるPCY事業を同時開催し、NPO/NGO団体や各種団体のみなさまに御協力頂くことで、大阪市民の方々に「和」の精神について改めて学び、楽しみながら国際問題について考えていただく機会といたしました。

「和」の精神発信委員会では、TOYP事業としてスピーチコンテストや各種フェスタなどを通じて大阪市民のみなさまに世界との関わりを感じていただくとともに、アルピニストの野口健氏による基調講演や海外より招聘した傑出した4名の若者のプレゼンテーションにて、改めて「和」の精神の素晴らしさを学んでいただき、一人ひとりが「和」の精神を体現し、発信していく契機としていただくことができました。

また、世界の「和」創造委員会では、PCY事業として国内外より50名の学生を招致し、大阪大学のホーキンス助教授をはじめとする各大学、NPO/NGO団体やシスターJCであるJCIプロンペンやJCI台北のみなさまに御協力を頂いて実施いたしました。一週間という期間で、学生たちは「和」の精神や国際情勢について学び、恒久的世界平和の実現のために自分たちができるることを追求し、自分が実行していくアクションプランをPCYフォーラムにおいて発表していただきました。また、11月には学生たちとともにプロンペンにてアクションプランを実行し、恒久的世界平和の実現に向けた大きな一步を踏み出すことができました。

当室では、世界の「和」の創造に向けて「Make a better world with harmony!」をテーマとして掲げ、各委員会だけではなく各種団体とも協働することで相乗効果を図り、一年間を通じて大きな成果をあげることができました。

一年間ありがとうございました。

室長

竹内 健祐



「和」の精神発信委員会

Committee to Convey a Spirit of Harmony

基本方針 めざすべき理想の世界に向けて和の心を拡げていく人びとを増やしていきます。

事業計画 私たちは、地球上のあらゆる事象と密接に繋がっている現実を認識し、承継されてきた日本の精神性に誇りをもち、自利利他を実践する気概を携え、価値観の異なる人たちと切磋琢磨し、めざすべき理想の世界に向けて和の心を拡げていく人びとを増やしていきます。

事業報告

1.Break Through OSAKA 2014 EXPO. (「和」の精神発信事業の企画と実施)

事業の内容	大阪の市民を対象に、世界とのつながりの中で、日本の精神の素晴らしさに気付いてもらい、身近な所から世界を変える一歩を踏み出す意識を高める2日間に渡る国際交流事業。
実施日時	8月30日(土)～8月31日(日)
場所・会場	サンライズビル大阪
参加人数報告	計画:TOYPメンバー:5人 JCI大阪メンバー:652人 まちの人びと:2,338人 結果:TOYPメンバー:4人 JCI大阪メンバー:500人 まちの人びと:2,050人
実施方法の工夫	世界に突き抜ける「和」のまち大阪をスローガンに掲げ、世界で活躍する日本人を招いての特別講演、日本と世界の学生によるPCYフォーラム、世界の傑出した若者によるTOYPフォーラム、大阪の若者たちによる英語でのスピーチコンテスト、世界のスイーツ、ファッショն、ダンス、ミュージックを集めたフェスタや、関西を中心に国際協力や交流に関わる団体や行政によるブース出展など、世界とのつながりを感じ、日本の素晴らしさに気付く事ができる様々なファンクションを2日間にわたり開催しました。
事業目的に達した点	委員会の枠を越え、世界の「和」創造室の合同事業として、行政や様々な団体と連携し事業を開催し、例年よりも多くの市民に参加を頂き、世界とのつながりを感じてもらう事で、日本の精神の素晴らしさにあらためて気付いてもらい、身近なところから世界を変える一歩を踏み出していくたく機会となりました。
事業目的に達しなかった点	参加者数3000名の目標に達しなかった。 TOYPメンバーが直前に1名不参加になった。

2.TOYP2014 (「和」の精神発信事業の企画と実施)

事業の内容	Break Through OSAKA 2014 EXPOのTOYPフォーラムのために招聘した、世界で「和」の精神の素晴らしさを伝えている4名の若者たちに対して、大阪、神戸、福島、東京と各現地プログラムを通して、あらためて「和」の精神の素晴らしさを感じてもらい、より世界で「和」の精神を発信してもらうための事業。
実施日時	8月30日(土)～9月10日(水)
場所・会場	サンライズビル大阪・KKRホテル・山本能楽堂・コドモエナジー(株)・(株)オリエンタルランド・PHP研究所・東宮御所
参加人数報告	計画:TOYPメンバー:5人 JCI大阪メンバー:55人 結果:TOYPメンバー:4人 JCI大阪メンバー:21人
実施方法の工夫	大阪、神戸、福島、東京で、ホームステイや、日本の伝統芸能体験、CSRに取り組む企業訪問や、被災地では生の声を聞くなど、体感することを通じて日本の精神の素晴らしさにあらためて気付くことができる各地プログラムを実施しました。
事業目的に達した点	12日間に渡り、各地において日本のおもてなしや、おもいやりの精神に触れて頂く事で、あらためて日本の精神の素晴らしさに気付いてもらい、今まで以上に世界で「和」の精神を拡げていただく機会となりました。
事業目的に達しなかった点	TOYPメンバーが直前に1名不参加になった。

3.JCIセミナーの参加促進

事業の内容	JCI大阪メンバーを対象に、資質向上と国際の機会に挑戦する意識を高める、JCゲーム、ボディーランゲージセミナー、ComComセミナー、VMVセミナー、Achieve/Impact/Adminセミナー、家訓づくりプログラム、Presenterセミナーなど、年間を通じて11回のセミナーを開催する事業。
実施日時	5月15日(水)～11月8日(土)
場所・会場	中央公会堂・ORC200・大阪青年会議所・事務局
参加人数報告	計画:JCI大阪メンバー:600人 結果:JCI大阪メンバー:529人
実施方法の工夫	例年の日本JCの諸大会や、JCI事業へのセミナー参加促進だけでなく、一人でも多くのJCI大阪メンバーに、資質向上と国際の機会に挑戦してもらう意識を高めるため、新人、旧人、理事など対象を分けてセミナープログラムを選定し、効果的な実施時期も検討し、年間を通じてJCIセミナーを開催しました。
事業目的に達した点	新規事業として、例年よりも多くのJCI大阪メンバーにセミナーへ参加して頂き、JCIセミナーの認知が広がったと共に、JC運動に対する理解や、国際の機会で積極的に海外のJCメンバーとかかわる意識を高める機会となりました。
事業目的に達しなかった点	JCIセミナーの開催日程が、他委員会と重複していた日などもあり、参加目標数を達成することができなかった。

4. ASPAC 山形大会

事業の内容	JCI大阪メンバーを対象に、国際青年会議所(JCI)が開催し、日本JCが所属するアジア太平洋地域で行われるエリア会議において、JCIの運動方針への理解や、国際交流を通じてJCIメンバーとの絆を深める為の参加促進。
実施日時	6月4日(水)～6月7日(土)
場所・会場	メトロポリタン山形・山形グランドホテル・ビッグウイング・山形いも煮センター
参加人数報告	計画:JCI大阪メンバー:296人 結果:JCI大阪メンバー:302人
実施方法の工夫	LOM推奨プランの設定や、地元の食文化や伝統文化を大自然の中で体感することができる河原でのLOMランチョン設営、現地のこだわった情報を掲載したマニュアルで魅力的な山形の情報を発信し参加促進を実施しました。
事業目的に達した点	国内大会として、目標数を超えるJCI大阪メンバーに参加して頂き、JCIの運動方針に対して理解を深めてもらうと共に、JCIメンバーと友情を育む機会となりました。また、日本JC国際グループへ出向しているメンバーも支援することができました。
事業目的に達しなかった点	大会への全体参加人数が多かったこともあり、メインファンクションである、コンファレンスホールに全員が参加できなかった。屋外開催であったLOMランチョンにおいて、悪天候のため山形の魅力を存分に感じて頂くことができなかった。

5. 全体事業の準備と参画

事業の内容	大阪の市民を対象に、「華道」「茶道」「書道」「武道」という日本固有の「道」という文化を通じて、日本の精神に誇りを感じてもらう事業。
実施日時	10月18日(土)・10月19日(日)
場所・会場	大阪城公園西の丸庭園
参加人数報告	計画:JCI大阪メンバー:60人 一般参加者:545人 結果:JCI大阪メンバー:48人 一般参加者:1,587人
実施方法の工夫	「華道」「茶道」「書道」においては、座学だけではなく、より日本の精神を感じることができるよう、実演型のパフォーマンスや体験事業を実施しました。また、「武道」においては、より日本の武道の中にある精神を感じてもらうために、世界の格闘技と日本の武道が戦う「天下一武道祭」を開催しました。
事業目的に達した点	予想を大きく上回る参加を頂き、多くの市民に日本の伝統文化を発信することができ、日本人の精神に誇りを持って頂くことができました。
事業目的に達しなかった点	見込み以上の来場だったため、多くの体験希望の方をお断りする形になりました。また、「茶道」においては、提供するお茶とお菓子がなくなり、予定よりも早くブースを閉めることになりました。

6. 世界会議ライブチヒ大会

事業の内容	JCI大阪メンバーを対象に、国際青年会議所(JCI)が開催する世界会議において、JCIの運動方針への理解や、国際交流を通じてJCIメンバーとの絆を深める為の参加促進。
実施日時	11月24日(月)～11月29日(土)
場所・会場	ウェスティン ライブチヒ・バイエリッシャーバーンホフ・コングレスセンター ライブチヒ
参加人数報告	計画:JCI大阪メンバー:104人 結果:JCI大阪メンバー:83人
実施方法の工夫	LOM推奨プランの設定や、大阪の生みだした発明品である「湯切り」体験を通じ国際交流ができるジャパンナイトブース企画、地元の食材やドイツ文化を感じる事ができるLOMランチョンの設営、現地のこだわった情報や海外初心者でも参加しやすい情報を掲載したマニュアルでライブチヒの情報を発信し参加促進を実施しました。
事業目的に達した点	2014年度唯一の海外開催事業として、JCIの運動方針に対して理解を深めてもらうと共に、JCIメンバーと友情を育む機会となりました。また、日本JC国際グループへ出向しているメンバーも支援することができました。
事業目的に達しなかった点	直前に現地で感染症が発生したことなどもあり、参加目標数を達成することができなかった。

私たち「和」の精神発信委員会は、世界に誇る「和」のまち大阪を実現するために、年間を通して様々な国際事業を実施して参りました。

ひとりでも多くの市民に世界を感じてもらい、日本の精神の素晴らしさに気付いてもらうために、本年度で33回目を迎える大阪青年会議所の伝統事業であるTOYPを進化させ、「世界に突き抜ける「和」のまち大阪」をスローガンに、世界の「和」創造委員会と連携し「Break Through OSAKA 2014 EXPO.」を開催し、2日間で約2000名のご参加を頂きました。12日間に渡るTOYP事業では、「和」の精神を世界で体現している傑出した4名の若者を招聘し、例年の大阪、東京だけでなく、被災地である神戸や福島を訪れ、おもいやりや、おもてなしの精神を肌で感じてもらうことで、あらためて日本の精神の素晴らしさを感じて頂きました。

また、全体事業においては、日本固有の「道」をテーマに、約1500名を超える市民の皆様に「華道」「茶道」「書道」「武道」を体感して頂き、日本人の精神に対して誇りを感じて頂きました。世界の格闘技と日本の武道が対決する「天下一武道祭」も大好評でした。

また、新規事業として年間を通してのJCIセミナーの開催や、ASPAC山形大会、世界会議ライブチヒ大会への参加促進を実施したことで、多くのJCI大阪メンバーに参加して頂き、資質向上や、国境を越えた友情を育んで頂きました。

それぞれの事業を通じて、世界とのつながりを感じ、日本人の誇りを呼び覚まし、身近なところから世界を変える一歩を踏み出す人びとを増やすことができたと確信しております。

最後に、私たちの事業にご参画、ご協力を頂きました皆様に心より感謝を申上げます。



委員長
竹田 哲之助

スタッフ

幹事	副委員長	委員	幹事	副委員長	委員	幹事	副委員長	委員	幹事	副委員長	委員
津村 豊光	嘉納 秀憲	浅岡 保裕	大槻 高史	小嶋 隆文	関口 正輝	長井 雅開	範舍美 口ニール	道野 弘済	布川 孝志朗	村尾 尚太郎	
藤本 和将	恵山 幸由	石塙 太一	木内 裕	小森 省吾	田口 敦	中島 聖智			藤井 準	森 一平	
山崎 安次	友藤 忠昭	和泉 憲幸	木村 真規	白石 将太郎	谷村 英高	鍋谷 直輝			古田 久統	諸岡 憲悟	
森高 悠太	八田 善博	井上 昌浩	清岡 義教	新川 高広	玉置 真澄	西村 穂			堀口 龍介	山根 ひろみ	
	濱永 健太	今村 昭悟	桐元 久佳	菅 繁伸	出口 一馬	西村 信一			増永 充浩		
	梅田 祐介	金城 聖薫	杉本 智則	徳田 幸修	羽原 功峻						



世界の「和」創造委員会

Committee to Create International Harmony

基本方針 和の心を携えて世界を舞台に活躍し続ける人財を育成していきます。

事業計画

私たちは、世界の諸問題と自らが密接に繋がっている事実を認識し、多様な異なる価値観を真摯に受け止め、あらゆるものが共生する世界を想い描き、自らが起点となり次代を切り拓く気概に溢れ、和の心を携えて世界を舞台に活躍し続ける人財を育成していきます。

事業報告

1. 世界の「和」創造事業の企画と実施 (PCY 2014)

事業の内容	世界中から集まった大学生と日本人の大学生が、恒久的世界平和の実現に向けてのアクションプランをつくり、その実現を通して人財を育成する事業。
実施日時	8月24日(日)～8月31日(日)
場所・会場	ORC200 1F会議室・大阪アカデミア・高野山・サンライズ大阪
参加人数報告	計画:PCYメンバー:50人 委員会メンバー:57人 結果:PCYメンバー:47人 委員会メンバー:37人
実施方法の工夫	WEBエントリーを導入し、選考に要する時間を大幅に短縮しました。PCYメンバーを近畿圏に集中させることで、継続的に活動していく可能性を高めました。また、プログラムにおいては、日本人の精神性を学びながら互いの価値観を受け止め合えるように小旅行を企画しました。また、あらかじめテーマに沿った対象をシスターJCの協力のもとで選定することで、議論を拡散させることなくアクションプランが創り出せるように工夫しました。
事業目的に達した点	世界中から集まった学生たちが互いを知り合うことで、自身が世界と密接につながっていることを認識し、「和」の心を一つの価値観の軸として多様な価値観を受け止めました。そして、恒久的な世界平和を実現していく上で、対象者を明確にすることで、実現可能なアクションプランを創り上げることができました。
事業目的に達しなかった点	世界平和への定義に統一感が持てなかったため、平和についての定義をする講義やPCYの理念である世界学生平和憲章について理解する時間を事前もしくはプログラムに盛り込む必要があります。

2. 世界の「和」創造事業の企画と実施 (実感研修)

事業の内容	小学校と家族に対するアクションプランをカンボジアにて実践し、自分たちの手で世界を変えていけることを実感してもらう事業。
実施日時	11月1日(土)～11月5日(水)
場所・会場	カンボジア-ブンベン コーポレーションセンター・カンボジア タケオ州 コンデン集落
参加人数報告	計画:PCYメンバー:25人 委員会メンバー:57人 結果:PCYメンバー:17人 委員会メンバー:7人
実施方法の工夫	ブンベンJCから会場や動員の協力を得て、選定した小学校と農村の過程に対してアクションプランを実施することができました。
事業目的に達した点	現地の人たちの顔がみえるところで、自分たちのアクションプランを実施し、自分たちでも世界を変える力があることを実感してもらうことで、これからの世界をつくっていくのは自分たちであるという意識を高めてもらいました。
事業目的に達しなかった点	現地の状況が変わり、前日にプログラムの変更を余儀なくされました。また、悪天候のためプログラム開始時間が遅くなりました。海外では安全対策のみならず、天候も含めたシミュレーションが必要です。

3. シスターJCとの交流促進

事業の内容	JCI大阪メンバーとシスターJCが交流し、国際交流を促進する事業。
実施日時	6月8日(金)、11月27日(木)
場所・会場	台北JC 事務局・JCI ASPAC 山形大会・JCI 世界会議 ライブチヒ大会・大阪市内
参加人数報告	結果:JCIウランバートル:16人 JCI台北 公式訪問:5人 JCI台北 シスター・ミーティング:7人 PCY 2014 JCI台北:5人 PCY 2014 JCIブンベン:3人 JCIヴィクトリア:3人 委員会メンバー:多数
実施方法の工夫	ASPAC山形大会のジャパンナイトでは一緒にたこ焼きをつくる機会を通してシスターJCとJCI大阪メンバーの交流が十分にはかれました。
事業目的に達した点	シスターJCと公式と非公式ミーティングをすることで、PCYプログラムに参加してもらいました。そして、ジャパンナイトなどの機会を通して、JCI大阪メンバーとも交流を深めてもらいました。
事業目的に達しなかった点	シスターJCとの交流をより促進するためには、年度が始まる前に互いの予定を把握しておく必要があります。

4.JCI 褒章事業へのエントリー調整

事業の内容	JCI優章事業へエントリーをする過程で、事業を振り返る機会を提供し、同時に世界のJCIメンバーにJCI大阪の事業を世界に知ってもらう事業
実施日時	3月11日(木)、3月18日(火)、4月11日(金)、4月25日(金)、5月2日(金)、6月7日(土)、9月5日(金)、9月22日(月)、10月7日(火)、11月28日(金)
場所・会場	JCI大阪事務局・JCI ASPAC 山形大会・JCI 世界会議 ライブチヒ大会
参加人数報告	計画:ASPAC:2013年度委員会メンバー39人 世界会議:2013年度委員会メンバー24人 委員会メンバー:57人 結果:ASPAC:2013年度委員会メンバー18人 世界会議:2013年度委員会メンバー5人 委員会メンバー:17人
実施方法の工夫	アワード受賞者からのポイントを説明するセミナーと、その後のアワードを作成していくサポートをするカウンセリングを行いました。また、英訳を外部に委託することで、JCI大阪の事業を世界により良く知ってもらえるようにしました。
事業目的に達した点	JCI ASPAC山形大会で申請した8事業に対して7事業がノミネートされ、うち2事業がJCIアワードを受賞しました。また、JCI大阪の事業を世界のJCIメンバーに十分に知ってもらう機会となりました。
事業目的に達しなかった点	特になし

5. 全体事業の準備と参画 チキンバンクゲーム

事 業 の 内 容	PCYで創り出したアクションプランの発表や疑似体験のできるゲームを実施し、実行していく意欲を高める事業。
実 施 日 時	10月18日(土)・19日(日)
場 所 ・ 会 場	大阪城公園西の丸庭園
参 加 人 数 報 告	計画:PCYメンバー:40人 委員会メンバー:57人 結果:PCYメンバー:10人 委員会メンバー:15人
実 施 方 法 の 工 夫	PCYメンバーが考え出したアクションプランをボードゲーム化して、世界で起こっている教育の問題について身近な人たちにも感じてもらえるように工夫しました。
事業目的に達した点	PCYメンバーが体感型ゲームを考えだし、大阪のまちの人々と交流することで、自分たちのアクションプランを実施していく意欲を高めてもらいました。
事業目的に達しなかった点	より多くの大阪市民にゲームを体験してもらえるように呼び込みやチラシの配布を当日する必要があります。

私たちは、世界の誇る「和」のまち大阪を実現するために、「和」の心を携えて世界を舞台に活躍する人財を育成していくことを運動として、【世界の「和」創造事業】(世界学生平和会議(PCY))を実施させて頂きました。特色として、応募専用のWEBページを用意し、優秀な学生を選考やすくしました。また、Pre PCY 2014を開催し、日本人学生と外国人留学生が世界の諸問題に取り組む団体についての理解を深めることができました。そして、世界から集まった学生が恒久的な世界平和を実現していくために「和」の心を一つの価値観として学び、異なる多様な価値観を受け止め合う「和」の心確立プログラムを実施しました。さらに、本年度はテーマと対象者を明確にすることで、実施可能なアクションプランをグループワークから導き出すことができました。さらに、Break Through OSAKA 2014 EXPOにてPCYフォーラム2014が開催され、アクションプランを発表し、自分たちが起点となって次代を切り拓く意欲を高めてもらいました。また、PCYフォーラムと同時開催のピースフェスティバルにおいても実質的な世界の問題解決に取り組むNGO団体や企業を大阪市民の方々に知って頂く機会を提供できました。

そして、PCYメンバーが創り上げたアクションプランを実施していくために毎月の振り返りミーティングを開催しました。また、カンボジアへの実感研修にて学校支援プロジェクトと家庭支援プロジェクトをJCI プノンペンの皆様と実施し、自分たちの手で世界を変えられることを実感してもらうことができました。さらに、PCYメンバーはPECEという団体を立ち上げ、継続的にカンボジアの人びと共に活動しています。

最後になりましたが、ご協力頂きました大学、NGO団体、JCI台北、JCI プノンペンの皆様に心から感謝を申し上げます。



委員長 大森 貴之

スタッフ



総務室

General Affairs Office

熱い情熱を結集させ、躍動感漲る組織へ！

JCI大阪発信委員会

日本JC関係委員会

総務財政特別会議



室長

小川 徹朗



副室長

佐藤 裕介

2014年度総務室では、世界に誇る「和」のまち大阪の実現のために、「熱い情熱を結集させ、躍動感漲る組織へ！」をテーマに、1年間運動を発信して参りました。

公益法人制度改革に伴い、一般社団法人として発足した節目の年である本年は、脈々と受け継がれてきた財産を未来へと送り、互いの成長へと繋がる有益な関係を築き、一人ひとりが自らを含む公を認識し、未来に対してそれぞれが持つ役割と責任を果たし、青年らしく志を抱き勇猛果敢に行動するメンバーを増やし続けていくことを目的として、JCI大阪発信委員会、日本JC関係委員会、総務財政特別会議の1会議体、2委員会で運動を展開して参りました。

JCI大阪発信委員会では、まちの皆様に我われが行う運動への関心をもっていただき、JCI大阪メンバーも活用しやすいホームページをテーマにリニューアルを行いました。中でも、メンバー紹介や公式フェイスブックでの情報発信等、JCI大阪の「今」を伝える広報媒体として、組織への共感の輪を広げることが出来ました。また、1月度から公開となった理事会では、より多くのメンバーにより効果的な運動を創り上げる意欲を高めてもらうことが出来ました。

日本JC関係委員会では、出向者支援として各大会のLOMナイトなどで出向者の活躍する姿にスポットを当て、自らが率先してあらゆる地域で活躍する同士たちが取り組む運動を身边に感じさせることで、大阪青年会議所メンバーが組織の掲げる目標に向かい、自らが率先して取り組む前向きな意欲を高めることができました。また、LOM間交流では、これまでにも増して切磋琢磨できる関係を構築することが出来ました。

総務財政特別会議では、年初に行われた池田会議での大懇親会をはじめとする設営及び運営に始まり、通常総会・臨時総会の設営及び運営、毎月行われる財務審議会に向けての総務財政メンバーによる面談及び財務審議会での運営、理事選挙における投票準備、委員会間の情報共有のための委員長ミーティング開催など、組織をつなぎ、和を創り出すべく活動して参りました。2014年に創られた「和」を次代へと贈り継いでいきます。1年間本当にありがとうございました。

基本方針 まちの主体者として時代を牽引し続けていく情熱溢れるメンバーを創り出します。

事業計画 私たちは、公に貢献する組織の一員としての誇りを携え、あらゆる問題を自分ごととして捉え、目標の実現に向け自らの役割を果たし、住み暮らす人びとと有益な関係で結ばれ、まちの主体者として時代を牽引し続けていく情熱溢れるメンバーを創り出します。

事業報告

1. 対外向け広報の実施

事業の内容	各広報手法の実施
実施日時	通年
実施方法の工夫	一般参加者用アンケートに書かれている連絡先を蓄積し、メールマガジン配信システムを使って事業前に配信して、一般参加者に対しては事業への参加を促進しました。また、まちの人びとや地域に密着した区広報誌を活用した広告掲載を積極的に行いました。
事業目的に達した点	メールマガジン配信システムが構築されたことにより、登録・発信・効果において、今後の運動発信に期待できます。テスト配信も問題なく実施できることにより、2015年度より、本格的なメールマガ配信が実施可能です。
事業目的に達しなかった点	なし

2. 会員向け広報の実施

事業の内容	妥協することなく取り組む確かな意思をもってもらいます
実施日時	通年
場所・会場	各事業場所
実施方法の工夫	各委員会の活動状況や出向者メンバーにスポットライトを当てて、リアルタイムで会員向けに配信してまいりました。
事業目的に達した点	Facebook、ホームページに常に配信することにより、出向者の活躍、各委員会の事業への興味を抱き、メンバー一人ひとりの役割を理解してもらいました。
事業目的に達しなかった点	なし

3. 新年名刺交換会

事業の内容	魅力ある組織の一員として運動を創り上げる意欲を高めてもらいます
実施日時	2015年1月8日
場所・会場	帝国ホテル大阪
参加人数報告	計画: 702人 結果: 649人
実施方法の工夫	フォーラムや各種セミナーのスケジュールをホームページや委員会MLを利用し、より多くのメンバーに参加促進を致しました。
事業目的に達した点	書初めブースにて開会前に現役メンバー34名、OB25名の方に「和」という文字を書いていただきました。今年度の理事長の想いを感じてもらうと共にその書初めを繋ぎ合わせることで現役メンバーとOBの連帯感を高めることができました。
事業目的に達しなかった点	なし



4. 理事会運営に関する準備と参画

事業の内容	仲間とともに理想のまちを築き上げる使命感を高めてもらう場です。
実施日時	通年
場所・会場	帝国ホテル大阪
実施方法の工夫	公開理事会とすることで、メンバー全員が情報を共有できるよう致しました。
事業目的に達した点	メールマガジン配信システムが構築されたことにより、登録・発信・効果において、今後の運動発信に期待できます。テスト配信も問題なく実施できることにより、2015年度より、本格的なメールマガジン配信が実施可能です。
事業目的に達しなかった点	なし

5. 全体事業の準備と参画

事業の内容	共感の輪を広げてもらいます。
実施日時	10月18日(土)・19日(日)
場所・会場	大阪城公園西の丸庭園
参加人数報告	計画:対内:914人 対外:49,000人 計49,914人 結果:対内:613人 対外:24,064人 計24,677人
実施方法の工夫	各委員会の発信となるブースへの立ち寄りを促すことで全委員会の運動効果を高めました。
事業目的に達した点	食事をしながら見られている人も多く、大阪青年会議所の活動を伝えることができたと判断します。また、キッズアドベンチャーがゴールを迎える場面では、U-STREAMと連動した効果的な発信ができました。
事業目的に達しなかった点	なし

6. アニュアルレポートの作成

事業の内容	果たすべき役割に妥協することなく取り組む意思をもってもらいます。
実施方法の工夫	一年間を通じて培ってきた実績を、より多くの財産を伝達できるように作成いたしました。

私たちは世界に誇る「和」のまち大阪を実現するために、まちの主体者として時代を牽引し続けていく情熱溢れるメンバーを創り出していくことを目的とし様々な事業を展開して参りました。

私たちは、情熱溢れるメンバーを創り出していく為に、1月の新年名刺交換会では、先輩諸兄より脈々と受け継がれてきた想いを共有して、公に貢献してきた組織の一員としての誇りを携えることができました。また、全委員会の事業活動を早期に効果的にメンバーに配信することで、メンバー同士の横の繋がりを深めていくことが出来ました。

また、私たちの大坂青年会議所の様々な運動をより効果的に広げていく為に、メディアストラテジー会議にてJCI大阪のプランディングを高めることに注力致しました。始めに、元旦に産経新聞様への一面掲載、一年を通じてJCI大阪の各媒体への広告掲載、各メディアへの広報活動（各新聞社、テレビ局、ラジオ局へのプレスリリースの配信）、様々なツール（Facebook、ホームページ、メールマガジン配信、全体事業でのLED設置、各事業の写真撮影等）を用いて斬新な創意工夫から効果的に大阪のまちに情報発信いたしました。

一年を通じて運動を行った結果、メンバー一人ひとりが誇りを携え、目標の実現に向けて役割を果たし、まちの主体者として時代を牽引し続けていく情熱溢れるメンバーを創り出し、世界に誇る「和」のまち大阪を実現することができました。



委員長
佐々木 琢郎

スタッフ

幹事	副委員長	委員
伊藤 淳	宇都宮 和加人	有光 克敏
小澤 廣介	金澤 学	池田 泰典
竹内 万征	川合 竜夫	岩本 樹明
中谷 龍太	林 洋一	上原 大助
	松下 兼久	植松 康太
		植松 大介
		黒田 健夫
		竹下 達也
		竹下 達也
		中川 謙治
		前田 智之
		湯浅 靖
		三品 龍介
		渡辺 克哉
		道前 慶高
		渡辺 俊一
		中村 誠広
		西野 嘉一
		森田 陽子
		廣野 恵介
		森田 龍二
		山田 慎一



基本方針 未来を切り拓く組織の一員として行動し続けるメンバーを溢れさせます。

事業計画

私たちは、様々な場面での活動に関心を抱き、見返りを期待することなく他者の成長を支える心を携え、新たなる価値を創造する有益な関係を築き、積み重ねてきた成果を進化させる気概をもち、未来を切り拓く組織の一員として行動し続けるメンバーを溢れさせます。

事業報告

1. 京都会議

事業の内容	日本JCへの出向者支援並びに連絡調整 日本JC事業への参加促進
実施日時	1月23日(木)～26日(日)
場所・会場	国立京都国際会館
参加人数報告	計画:300人 結果:314人
実施方法の工夫	フォーラムや各種セミナーのスケジュールをホームページや委員会MLを利用し、より多くのメンバーに参加促進を致しました。
事業目的に達した点	LOMナイトでは、日本JC、近畿地区、大阪ブロックに出向しているメンバーにスポットライトを当て、JCI大阪を代表して出向している自覚と多くの仲間に支えられていることを実感する場を提供できました。
事業目的に達しなかった点	出向者に対して、何が支援になるかをより多くのメンバーに周知してもらえるように工夫する必要があります。

2. 近畿地区白浜大会

事業の内容	日本JCへの出向者支援並びに連絡調整 日本JC事業への参加促進
実施日時	7月5日(土)・6日(日)
場所・会場	白浜会館他
参加人数報告	計画:300人 結果:320人
実施方法の工夫	大懇親会では『情熱』をテーマに掲げ、食を通じたコミュニケーションを図り、メンバー同士の繋がりを感じて頂きました。その中でJCI大阪メンバーが、他LOMメンバーと交流を図りながら主体的に役割を果たして頂くために各室ごとで参加メンバー全員にブースを担当して頂きました。
事業目的に達した点	各委員会にJCI大阪ブースのお手伝いを頂くことで、主体者として役割を果たす前向きな行動力を育んで頂きました。
事業目的に達しなかった点	無し

3. サマーコンファレンス

事業の内容	日本JCへの出向者支援並びに連絡調整 日本JC事業への参加促進
実施日時	7月17日(木)～20日(日)
場所・会場	パシフィコ横浜他
参加人数報告	計画:350人 結果:340人
実施方法の工夫	参加者マニュアル、各種セミナー、フォーラム等の情報をタイムリーにわかりやすく配信致しました。
事業目的に達した点	事前にPRや、ホームページ、幹事ML等で、セミナー・フォーラム等の情報を共有できることもあり、最終の記念撮影までたくさんのメンバー様に参加して頂き、JCI大阪の存在感や何ごとも自らが率先して取り組む前向きな意欲を高めることができました。
事業目的に達しなかった点	出向者支援に関しては、委員会や懇親会の場にて激励はできましたが、LOMナイトの開催時間が、各フォーラムのリハーサル等の為、出向者の方で参加できない方がいたのが残念です。開催時間をよく精査する必要があります。

4. 全国大会松山大会

事業の内容	日本JCへの出向者支援並びに連絡調整 日本JC事業への参加促進
実施日時	10月9日(木)~12日(日)
場所・会場	ひめぎんホール他
参加人数報告	計画:350人 結果:391人
実施方法の工夫	LOMナイトの中で、出向者を代表して、本年度を振り返りお話をしていただくことで、出向しているメンバーの頑張りや活躍を知る機会とし、また会場に卒業生ののぼりを飾り、いつの時代も世界を力強く牽引していく組織の一員としての役割と責任を認識して頂きました。
事業目的に達した点	LOMナイトを開催し、出向者紹介することで、出向者メンバーの成長をメンバー全員で認識し、相手の笑顔や成長をも自らの喜びとすることのできる思いやりの心を育むことができました。また、2014年度の青年会議所運動の集大成を実感できる場となりました。
事業目的に達しなかった点	全国大会のLOMナイトでは、対象者を出向者支援なのか、卒業者なのか対象を絞り込むのが大変難しく、シナリオの作成時に精査する必要があります。また、LOMナイト開催場所の選定を早急におこなう必要があります。

5. LOM間交流会

事業の内容	LOM間交流
実施日時	6月18日(水)・10月24日(金)
場所・会場	六本木パルコニー・割烹 美作
実施方法の工夫	今まで以上に、互いを高め合う関係を築いて頂くために、活動の報告会を実施致しました。
事業目的に達した点	本年度も岡山JC、金沢JCと交歓会を開催し、各地での運動の成果を深く学び合うことで、切磋琢磨する関係を築くことができました。
事業目的に達しなかった点	無し

5. アワード勉強会

事業の内容	JCI及びJCI日本褒賞事業へのエントリー調整
実施日時	計3回
場所・会場	JCI大阪事務局
実施方法の工夫	アワード申請をより有意義にするために、アワード申請までに勉強会を開催し、アワード受賞への期待感を高めるとともに青年会議所に所属している意義を確認して頂きました。
事業目的に達した点	アワード申請を通じて、自分たちのまちをより良くするために組織が行う運動を自らが起点となって進化させていく意識を高めることができました。
事業目的に達しなかった点	アワード担当者以外のメンバーに対しての周知・案内ができていません。会場等の問題は有りますが、アワード勉強会へ誰でも参加できる環境も必要だと感じます。

私たち、日本JC関係委員会は世界に誇る「和」のまち大阪を実現するために、未来を切り拓く組織の一員として行動し続けるメンバーを溢れさせていくことを目的とし様々な事業を展開して参りました。1月の京都会議に始まり、7月の近畿地区白浜大会、7月のサマー・コンファレンス2014、8月の大坂ブロック羽曳野大会、10月の全国大会松山大会と様々な想いを預かり、大阪青年会議所メンバーに日本JC事業の趣旨や参画意識をわかりやすく伝え、一貫した各種大会でのセミナー等の案内、LOMナイトの設営を行い、日本JCの事業を身近な存在であることを知り参画してもらうことで、何事にも自らが率先して取り組む前向きな意欲を高めることができました。

また、各種大会のLOMナイトなどで日本JC、近畿地区協議会、大阪ブロックに出向して頂いているメンバーの成長を実感できる場を繰り返し創出することで、相手の笑顔や成長をも自らの喜びとすることのできる思いやりの心を育みました。

そして、LOM間の交流を図るために本年度も岡山青年会議所、金沢青年会議所のメンバーの皆様と共に、地域は違えども共通の目的に向かって奮闘している同志として、JC運動の成果を深く学び合う機会を創り、切磋琢磨する関係を築くことができました。

また、日本JCが主催するアワードにエントリーし、アワードエントリーに対して勉強会を開催し、組織が行う運動を自らが起点となって進化させていく意識を高めました。

一年を通じて、一人ひとりの前向きな行動力を育むことで、未来を切り拓く組織の一員として行動し続けるメンバーを溢れさせ、世界に誇る「和」のまち大阪を実現することができました。



委員長
橋本 充雄

スタッフ

幹事	副委員長	委員	幹事	副委員長	委員	幹事	副委員長	委員	幹事	副委員長	委員	幹事	副委員長	委員
池田 昌彦	浦本 佳則	足立 洋平	小上 茂樹	木下 孝祐	神藤 昌平	富田 博文	備前 秀和	増本 知之	和倉 聰美					
河東 猛	阪口 誠弘	池田 生大	押村 直志	木下 隆英	竹内 孝博	長尾 高人	日根野谷 裕一	村部 龍也						
西光 靖喜	穂積 隼人	伊藤 良夏	河内 良	齋藤 優貴	竹上 新治	長島 広明	福田 大輔	保井 美紀						
森光 大輔	宮本 高明	岩本 勝浩	北畠 健嗣	寄本 将光	巽 宏彰	中村 健	藤本 勝仁	山本 岳二						
	村井 敦	大芝 恒太	北本 武	島村 真以	辻 直孝	西村 文勝	藤原 浩貴	山本 雅仁						
		大谷 耕司	橋高 和芳	下地 龍	徳久 健作	久田 哲生	堀 感治	山本 洋子						



総務財政特別会議

General Affairs and Accounting Special Committee

基本方針 より良い未来を築きあげる想いを伝播させていく意識を高めていきます。

事業計画

私たちは、光り輝く能力を持った仲間たちの個性を尊重し、理想に向けてそれぞれが責務を果たし、より良い未来を築きあげる想いを伝播させていく意識を高めていきます。

事業報告

1. 池田会議

事業の内容	池田会議の企画と実施
実施日時	1月11日(土)・12日(日)
場所・会場	池田不死王閣
参加人数報告	計画:455人 結果:489人
実施方法の工夫	大阪青年会議所に大きな一つの「和」を構築する為に、委員会ごとに指定された席を設けず、またアトラクションも全体で盛り上がるような内容を企画しました。
事業目的に達した点	メンバー一人ひとりが、多くのメンバーと交流を持つ事ができた。また、会場を大きく使い、委員会対抗のアトラクションを実施したことで委員会の団結力が高まり、また互いを応援することで大阪青年会議所全体にも大きな「和」を構築することができた。

2. 財務審議会・総会の運営に関する準備と調整

事業の内容	財務審議会及び総会の準備と調整
実施日時	毎月
場所・会場	各所

事業目的に達した点 各委員会の議案に対して、財務審議会の前に総務財政特別会議メンバーにて事前チェックを行い修正意見を伝え、議案の精度を高めることができた。



本年度の総務財政特別会議では、一般社団法人として新たな節目を迎え、組織の要としての役割にとどまらず、64年続くこの組織を、世界に誇る「和」のまち大阪の実現に向けて、光り輝く能力をもった仲間たちの個性を尊重し、理想に向けてそれぞれが責務を果たし、より良い未来を築きあげる想いを伝播させていく意識をもったメンバーで溢れるような、躍動感漲る組織が必要であると考えました。年初に行われた池田会議での大懇親会をはじめとする設営及び運営に始まり、通常総会・臨時総会の設営及び運営、毎月行われる財務審議会に向けての総務財政メンバーによる面談及び財務審議会での運営、理事選挙における投票準備、委員会間の情報共有のための委員長ミーティング開催など、組織をつなぎ、和を創り出すべく活動して参りました。2014年度年初に行われた池田会議の総会では、2014年度の室方針・委員会事業計画をメンバーの皆様にご説明することにより、各委員会が年間を通じてどのような運動を行うかについて共通理解を得ることが出来ました。また、大懇親会をメンバー同士のつながりの起点とすべく大運動会を開催し、目標に向かって委員会メンバー一丸となる場を提供することで、組織の“和”を創り出すきっかけとすることが出来たと確信しております。そして、組織の最高意思決定機関である通常総会・臨時総会においては、メンバーの皆様にそれぞれの役割と責任を理解していただき、一人でも多くの方に採決に加わっていただけるよう運営を行いました。また、財務審議会が開催されるにあたり、事前に総務財政メンバーによる予算書及び添付資料の確認を行う、総務財政面談を開催し、総務財政議長面談とあわせて二重三重のチェックを行い、メンバーの皆様からお預かりした会費が有効且つ適正に使われているか、しっかりとサポートを行い、事業が行われることにより運動が効果的なものとなるよう運営いたしました。永続的な組織とするための理事選挙では、不在者投票等も実施し、メンバーの意志が反映しやすい運営を行い、投票率も過去最高を記録することが出来ました。より良い未来を築き上げるために、組織の運営を一手に担つた1年でしたが、新たなスタートを切った一般社団法人大阪青年会議所が、今後ますます強固な組織となっていってほしいと思います。

1年間、本当にありがとうございました。



議長
小川 徹朗



副室長
佐藤 裕介

スタッフ

幹事	副委員長	委員
濱崎 恭明	井上 幹盛	青山 修司
安渡 慶	本元 宏和	奥山 淑英
山田 浩介	宮本 恵美子	信田 光晴
吉山 晋市	石原 佑也	且過 ちあき
	佐川 宏治	林本 大
		森 和孝
		米倉 健太
		中川 雅照
		馬場 智巖
		山崎 紀文
		中村 宜嗣
		本田 拓也
		山根 鉄平
		和倉 康博
		馬場 裕也
		松任 鎮央
		吉村 久





月例会

1月 11日
池田不死王閣

講師：作家・小説家
百田 尚樹氏



7月 14日
帝国ホテル大阪

講師：ダンスパフォーマー
蝦名 健一氏



2月 17日
帝国ホテル大阪

■パネルディスカッション
杉浦 卓氏(名古屋JC副理事長)・
近藤 康之氏(大阪JC特別顧問)・
大島 衣恵氏(2009年度福山JC理事長)



8月 5日
リーガロイヤルホテル

OB現役交歓会



3月 13日
帝国ホテル大阪

講師：戦場カメラマン
渡部 陽一氏



9月 19日
帝国ホテル大阪

本コーラス



4月 21日
帝国ホテル大阪

講師：元阪神タイガース選手
桧山 進次郎氏



10月 17日
帝国ホテル大阪

講師：作家
北 康利氏



5月 12日
茨木市市民会館

講師：ニュースキャスター
辛坊 治郎氏



11月 11日
帝国ホテル大阪

講師：サラヤ株式会社
代表取締役
更家 悠介氏



6月 16日
グランキューブ大阪

講師：建築家
安藤 忠雄氏
■パネルディスカッション
安藤忠雄氏・島井 信吾氏(サントリーホールディングス株式会社代表取締役社長)・中谷理事長



12月 9日
リーガロイヤルホテル

会員大会







プレゼンシャルリリース伝達式





2014年度 会員褒賞

理事長特別賞

- 許 由希

JC運動推進賞

- 大阪の「和」創造委員会
- 総務財政特別会議

最優秀事業賞

- 子どもの「和」育成事業の企画と実施

優秀事業賞

- 「和」の精神発信事業の企画と実施
- 世界の「和」創造事業の企画と実施

最優秀委員会賞

- 会員の「和」創造委員会

優秀委員会賞

- 会員開発特別委員会
- 社会と子どもの「和」創造委員会

最優秀出向者賞

- 奥田 勇

優秀出向者賞

- 江川浩司
- 神農将史
- 藤田恭子
- 下岡佑一郎
- 長友 優
- 村尾尚太郎
- 植松康太



最優秀会員賞

- 中谷 誠

優秀会員賞

- 安藤利江
- 中尾 浩
- 宮沢孝児
- 藤波 寛
- 伊藤 豊
- 小畠剛平
- 松下兼久
- 山田浩介

最優秀新人賞

- 戎健太郎

優秀新人賞

- 河合栄佳
- 島 哲士
- 狩野雅彦
- 藤本和将
- 吉本一美
- 中谷龍太
- 池田昌彦
- 安渡 慶

CM大賞

- 総務財政特別会議



2014年度 主なメディア掲載

日付	ジャンル	媒体名	見出し・内容
2013			
12月18日	地方紙	石巻かほく新聞	小学校遊具 石巻市に寄贈
12月18日	地方紙	大阪日日新聞別冊	トップの決意 2014
2014			
1月1日	一般紙	産経新聞	2014年大阪青年会議所 新年特集
1月20日	一般紙	日刊ケイザイ	世界に誇る「和」のまち大阪実現へ
2月4日	web	京橋経済新聞	大阪の小学校で出前授業－「紙ヒコーキ」の楽しさを学ぶ
2月4日	地方紙	週刊大阪日日新聞	鶴見区 紙ヒコーキを楽しむ 榎本小6年生
3月8日	一般紙	日本経済新聞（大阪）夕刊	大阪出直し市長選 公開討論会 開催なし 告示前、候補者固まらず 担当者「有権者置き去り」
3月8日	一般紙	毎日新聞（大阪）	大阪市長選あす告示
3月8日	web	選挙毎日	選挙： 大阪市長選 あす告示
3月10日	テレビ	東日本放送 「スーパーJチャンネルみやぎ」	子どもに笑顔戻る 被災小学校に“遊具”寄贈
3月10日	一般紙	産経新聞（大阪）夕刊	選択いかに 出直し大阪市長選 政策討論会なし 異常事態 橋下氏得意の論戦 多党そっぽ
3月10日	web	Yahoo! ニュース MSN 産経ニュース west	大阪出直し市長選 政策討論会なし 異常事態 橋本氏得意の論戦封じるねらい
3月21日	テレビ	讀賣テレビ 「NNN ストレイトニュース」	淀川「花は咲く」プロジェクト
3月21日	テレビ	讀賣テレビ「NEWS ZERO」	淀川「花は咲く」プロジェクト
3月22日	一般紙	産経新聞（大阪）	淀川左岸で菜の花満開 みどり基金が120万円寄贈
3月23日	テレビ	関西テレビ「テレビのミカタ」	淀川今昔明日ものがたり
3月24日	一般紙	産経新聞（大阪）	【がんばれ！！ものづくり日本】緊急提言シンポ 参加者募集
4月17日	一般紙	産経新聞（大阪）	【がんばれ！！ものづくり日本】緊急提言「次世代の成長産業」
4月23日	一般紙	産経新聞（大阪）	【がんばれ！！ものづくり日本】緊急提言シンポ 二階氏が講演
4月25日	業界紙	建設通信新聞（東京）	けんちくのチカラ・大阪市議会議員 元ファッシュンモデル 伊藤良夏さん
5月12日	地方紙	大阪日日新聞	わんぱく相撲大阪市大会 参加児童を募集 中央体育館で来月熱戦 琴欧洲親方が来場
5月12日	web	大阪日日新聞	参加児童を募集 わんぱく相撲大阪市大会
5月14日	一般紙	産経新聞（大阪）	がんばれ！！ものづくり日本 パネルディスカッション「ものづくり 時代を拓く新しい取り組み」
5月21日	一般紙	朝日新聞（松戸）	松戸市長選、出馬予定の3氏討論 来月3日、公開で
5月21日	web	livedoor 地図情報／BIGLOBE 旅行／e-navi／Fotonoma／nifty 旅行／Yahoo! ロコ／アパホテル／ウォーカープラス／エキサイト シーズン／おでかけ旅ガイド／こどもと遊ぼう／ニコンイメージング／まちこみ ZAQ／ゆこゆこ／朝日新聞デジタル／日本旅行	【イベント情報】第33回大阪市長杯 わんぱく相撲 大阪市大会
6月5日	web	livedoor 地図情報／ウォーカープラス／Yahoo! ロコ／MIDOSUJI.BIZ／NOW EVENTS	【イベント情報】大阪未来創造フォーラム
6月7日	地方紙	大阪日日新聞	16日 大阪未来創造フォーラム 安藤、鳥井さんら討論
6月10日	一般紙	産経新聞（大阪）	民の力で大阪活性化 16日に未来創造フォーラム
6月14日	テレビ	NHK「ニュース・天気予報」	20:45～21:00 一わんぱく相撲－
6月14日	テレビ	NHK「ニュース・天気予報」	23:20～23:30 一わんぱく相撲－
6月14日	web	NHK NEWS WEB	琴欧洲親方が子どもたちと対戦
6月15日	ケーブルTV	eo光テレビ「ニュースK」	16:00～16:15 一わんぱく相撲－
6月15日	地方紙	大阪日日新聞	琴欧洲親方盛り上げ 大阪市長杯 わんぱく相撲 トークや「取り組み」
6月15日	web	大阪ベイ経済新聞	わんぱく相撲大阪市大会が開催 －元大関・琴欧洲が児童と相撲対決／大阪
6月15日	web	大阪日日新聞	琴欧洲親方盛り上げ 大阪市長杯わんぱく相撲
6月29日	一般紙	産経新聞（大阪）	「大阪未来創造フォーラム」
7月8日	一般紙	朝日新聞（大阪）夕刊	【単眼複眼】探ろう 大阪を生かす道

日付	ジャンル	媒体名	見出し・内容
7月9日	web	Yahoo! ロコ／朝日新聞デジタル／Walkerplus／nifty 旅行／excite／おでかけ旅ガイド／Fotonomia／すっぽっとサーチ／アパホテル／まちこみZAQ／表示灯 e-NAVITA／学研キッズネット／livedoor 地図／ゆこゆこ	【イベント情報】淀川「花は咲く」プロジェクト～コスモス種まき～
7月11日	一般紙	読売新聞（大阪）	淀川堤防沿い 花いっぱいに あすコスモス種まき
7月19日	地方紙	大阪日日新聞	市民の憩いの場に 淀川南岸 コスモスの種まく
7月22日	地方紙	大阪日日新聞	[現代教育事情・現代教師事情 先生ってすばらしい！！] 不思議なご縁が結ぶ（佐々木豊、太成学院大学准教授）
7月26日	地方紙	大阪日日新聞	[水都祭天神祭 2014.7.25] 浪速の夏クライマックス
8月20日	web	Yahoo! ロコ／朝日新聞デジタル／Walkerplus／nifty 旅行／excite／おでかけ旅ガイド／livedoor 地図／デート通／まちこみZAQ／観光ガイド - ゆこゆこネット	【イベント情報】BREAK THROUGH OSAKA 2014 EXPO
8月25日	地方紙	大阪日日新聞	世界の文化や風習学ぶ催し 中央区で 30、31 日
8月31日	地方紙	大阪日日新聞	世界情勢五感で学ぶ 学生らが発表、交流
10月19日	地方紙	大阪日日新聞	2 日間、40 キロの冒険 大阪キッズアドベンチャー
10月19日	地方紙	大阪日日新聞	家族連れ「ハッスル」大阪城でイベント
11月9日	一般紙	産経新聞	菓子職人の技 小学生に伝授
11月19日	一般紙	産経新聞	育て！「和」の心持つニュー大阪人
11月26日	一般紙	産経新聞	各党関係者集め公開討論会開催
11月27日	一般紙	産経新聞	選挙にいったんで広告
12月2日	一般紙	産経新聞	アベノミクスの是非で舌戦
12月2日	一般紙	日本経済新聞	大阪「第1党」へ火花



石巻かほく新聞 2013年12月18日



大阪日日新聞別冊 2013年12月18日 「トップの決意 2014」



産経新聞 3月22日

朝日新聞 7月8日

大阪日日新聞 10月19日

産経新聞 11月19日

大阪日日新聞 10月19日

小学生に伝授 平野で出前授業	
社会人講師が仕事の心構えや技術を子供に教える	社会人講師が仕事の心構えや技術を子供に教える
出前授業が8日、大阪市平野区の正徳小学校で開かれ、1-4年生の児童約260人がパティシエ(菓子職)やチーズソムリエら50人から、プロの技を学んだ。	出前授業が8日、大阪市平野区の正徳小学校で開かれ、1-4年生の児童約260人がパティシエ(菓子職)やチーズソムリエら50人から、プロの技を学んだ。
大阪青年会議所が市内の4年生は、「五感・北欧	大阪青年会議所が市内の4年生は、「五感・北欧
小中学校を対象に平成19年講師事業」の一環として実施。今年は1年生がウォーキング、2年生がアロマテラピ、3年生がチーズ、4年生が菓子づくり、5年生が新開づくりの専門家の授業を受けた。	小中学校を対象に平成19年講師事業」の一環として実施。今年は1年生がウォーキング、2年生がアロマテラピ、3年生がチーズ、4年生が菓子づくり、5年生が新開づくりの専門家の授業を受けた。
本館(大阪市中央区)のチーフパティシエ・小柴泰さん(41)の指導を受け、クリスマス用のクッキーなどを挑戦。完成品を園田市で交換し、試食した。	本館(大阪市中央区)のチーフパティシエ・小柴泰さん(41)の指導を受け、クリスマス用のクッキーなどを挑戦。完成品を園田市で交換し、試食した。
岡野雅子校長は「人に食べてもらいたるために心を込めつづけることを学んだけれど、これが将来の夢を広げられる」と話していた。	岡野雅子校長は「人に食べてもらいたるために心を込めつづけることを学んだけれど、これが将来の夢を広げられる」と話していた。

産経新聞 11月9日

各党関係者集め
公開討論会開催
公示前日に大阪JC

衆院選に向け、大阪青年

議所（JC）は、公示1日前の12月1日午後7時から9時まで、各政党関係者が集まり、政策などについて議論する公開討論会を大阪市北区のグランフロント大阪にあるナレッジシアター（ナレッジキャピタル4階）で開催する。

同会議所の中谷憲正理事長は多くの人が来場するよう呼びかけており、「一人一人が理想とする日本の姿を思い描き、自らの手で未来を選択してほしい」と話している。

定員は300人で先着順。入場無料。問い合わせはメールで大阪青年会議所事務局(senkyo@osaka-jc.or.jp)まで。

産経新聞 11月26日

選挙年	候補	得票率
2005年 8月30日	自民 公明	17
2009年 9月11日	民主 公明	43
2012年 12月16日	自民 公明	53

(注)自民の所属政党は選舉用意

65人程度 出馬見通し 都構想・経済巡り激論

大阪「第1党」へ火花

衆院選
2014

産経新聞 12月2日

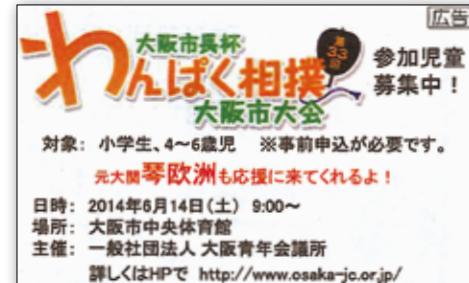
日本経済新聞 12月2日

2014年度 主な広報活動

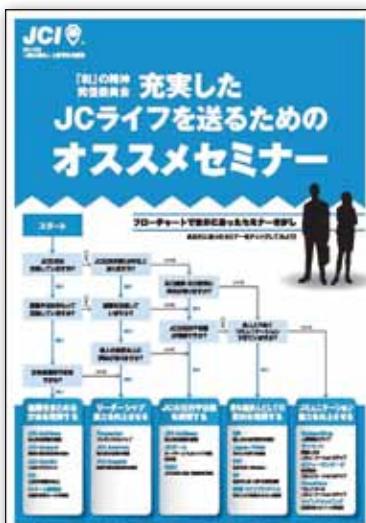
月例会（チラシ・バナー）



わんぱく相撲（ポスター・新聞広告）



オススメセミナー（チラシ）



社会人講師事業（チラシ）



異業種交流会・女子会（チラシ）



ささえあいプロジェクト（チラシ・バナー・フラッシュ）



ささえあいプロジェクト
2014 To Support Each Other

参 加 申 込 書

申内に必要事項を記入し、下記までFAXでご送信ください。
7/28月 19:00~21:00

社員が自ら判断し行動できる
感性を磨く「ディズニーの理念経営」
~東日本大震災を通じて~

フリガナ
会社名
会社体名

フリガナ
ご担当者名

電話

Email

備考

定員になり次第締め切らせていただきます

お問い合わせ FAX 06-6575-5163

お問い合わせ JCI 一般社団法人 大阪青年会議所
〒532-0027 大阪市西淀川区西1-3-30 フーゲビル4F TEL:06-6575-5163



ささえあいプロジェクト
2014 To Support Each Other

参 加 申 込 書

申内に必要事項を記入し、下記までFAXでご送信ください。
8/27水 19:00~21:00

いずれ来る災害に備えて
あなたの会社は大丈夫?

フリガナ
会社名
会社体名

フリガナ
ご担当者名

電話

Email

備考

定員になり次第締め切らせていただきます

お問い合わせ FAX 06-6575-5163

お問い合わせ JCI 一般社団法人 大阪青年会議所
〒532-0027 大阪市西淀川区西1-3-30 フーゲビル4F TEL:06-6575-5163



花は咲くプロジェクト（チラシ・新聞広告）



産経新聞 6月29日

GTS（チラシ）



なにわ淀川花火大会（バナー）



TOYP 事業（バナー）



BREAK THROUGH OSAKA (チラシ)



心意気セミナー (チラシ)



選挙にいったんで！ (新聞広告)



Fuji Sankei Bussiness i 11月27日

全体事業 OSAKA キャッスル☆ハッスル（フラッシュ・新聞広告）

産経新聞 10月16日



編集後記

2014年度、一般社団法人大阪青年会議所は、中谷憲正理事長の掲げる「世界に誇る「和」のまち大阪を実現しよう！～己を磨き 他者を信じ 公に貢献する～熱い情熱をもって！」をスローガンに、1年間様々な運動を展開しました。大阪のまちの皆様にご協力をいただきながら、全力で取り組んできた成果を多くの皆様に見ていただき、JCI 大阪の活動を御理解いただけるよう編集致しました。

次年度以降も、我々の運動に御理解いただき、さらに大きな運動の拡がりとなれば幸いです。
1年間を通じて、大阪市をはじめとする行政機関・関係諸団体・企業・市民の全ての方々に御礼を申し上げます。本当に、ありがとうございました。

JCI 大阪発信委員会 委員長 佐々木琢郎

企画・編集 JCI 大阪発信委員会

発 行 一般社団法人 大阪青年会議所

〒 552-0007 大阪市港区弁天1丁目2番30号オーク4番街401号

TEL 06-6575-5161 FAX 06-6575-5163

<http://www.osaka-jc.or.jp>

発 行 日 2015年3月 制作／株式会社どりむ社 印刷／株式会社恒和プロダクト